

下迭部チベット語阿夏 [’Azha] 方言のチベット文語形式との音対応と語彙： 迭部県のチベット系諸言語の概観とともに

鈴木 博之

京都大学

キーワード：下迭部チベット語、阿夏郷、音声学、方言学、チベット文語対応形式

1 はじめに

本稿は甘肅省甘南 [Kan-lho] 藏族自治州迭部 [The-bo]¹ 県阿夏 [’A-zha] 郷で話される Thewo-smad (下迭部) チベット語’Azha (阿夏) 方言の語形を記述し、チベット文語 (以下「藏文」) 形式との対応関係を明らかにする。また、本稿末尾に語彙資料 (約 1800 語) を付す。

1.1 迭部県のチベット系諸言語の位置づけと分類

迭部県はチベットの伝統的な地理区分において、アムドと呼ばれる地域に含まれる。アムド地域の大部分に居住するチベット人はアムドチベット語を母語とするが、一部地域ではアムドチベット語とは異なるチベット系諸言語が話されている (Tournadre 2014)。この言語群は、中国の先行研究ではアムドチベット語に分類するもの (楊士宏 1995, 2009) とカムチベット語に分類するもの (瞿靄堂、金效静 1981; 張濟川 1993; 瞿靄堂 1996; 仁増旺姆 2013) というように見解が分かれる一方、最近の研究ではカムにもアムドにも属さない方言群を立てる見方が出てきている (Tournadre 2014; 鈴木 2015; Tournadre & Suzuki 2022)。迭部県およびその周辺のチベット系諸言語の分布と分類を図 1 に掲げる。

図 1 の諸言語で、迭部県以外の地域に分布するものは以下のような先行研究を参照できる。

- Amdo (アムドチベット語) : Sun (1986); 格桑居冕、格桑央京 (2002:191-270); 華侃 主編 (2002); 周毛草 (2003)
- Cone : 瞿靄堂 (1962); rNam-rgyal Tshe-brten (2009); 鈴木 (2012); 鄒玉霞 (2021); Zou & Suzuki (2022)
- Khodpokhog : 鈴木 (2013a)
- Sharkhog : Suzuki (2008); 鈴木 (2010)
- dPaskyid : 孫天心 (2003); 鈴木 (2007, 2008)
- mBrugchu : 鈴木 (2013b, 2014); Suzuki (2015ab)

¹ 最近の言語学の論文で方言名を Thebo と書くものが認められる (Lin 2014; 桑吉次力 2020)。ただし、これはチベット文字の翻字と音訳を混同したものであり、翻字である場合や第 2 音節初頭子音が現地音で閉鎖音として実現される場合を除いては、Thewo のように w を用いるのが道理である。

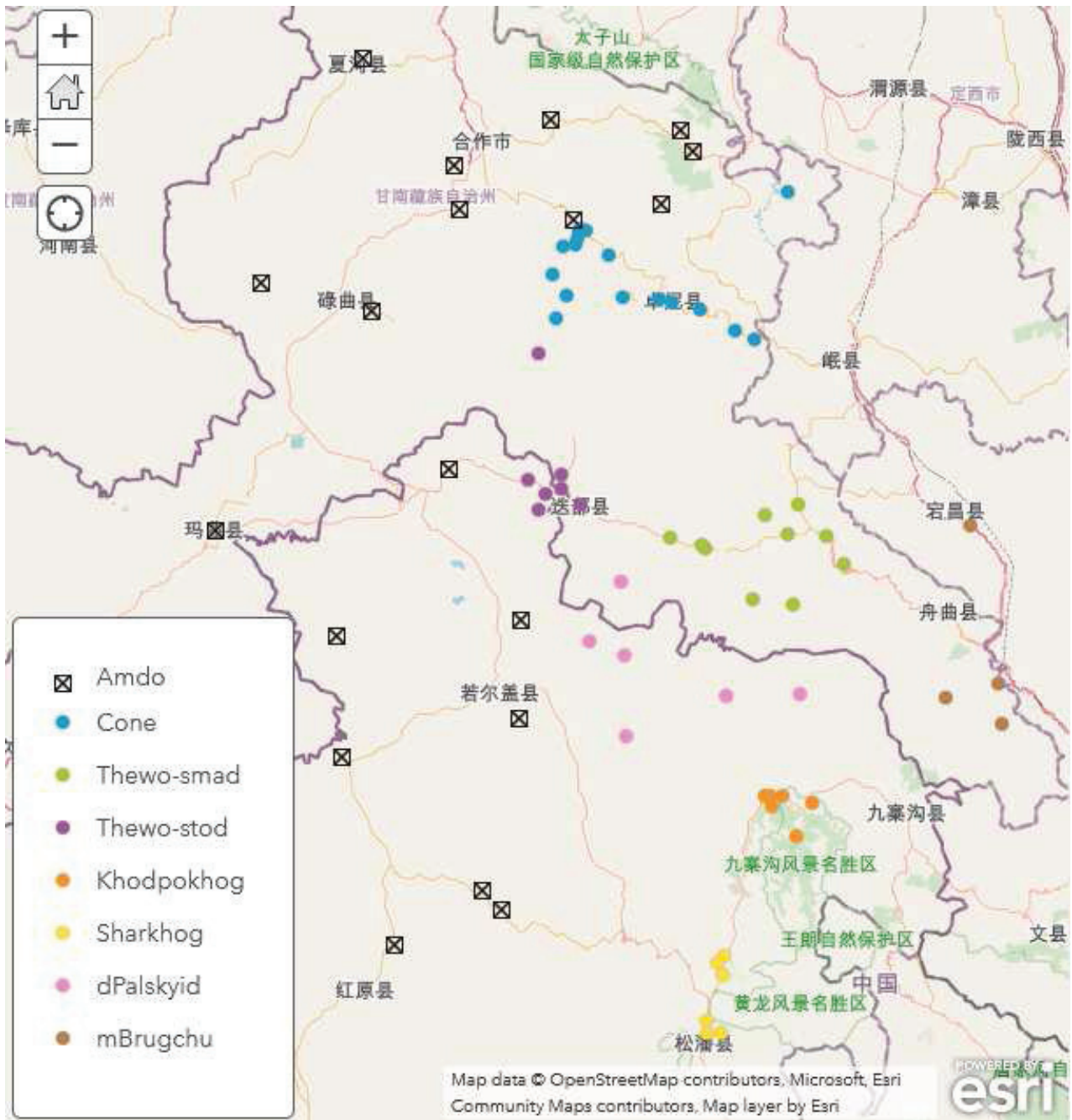


図1：迭部県およびその周辺のチベット系諸言語：分布と分類

迭部県内のチベット系諸言語の記述研究としては、電尕 [sTeng-ka] 鎮の sTengka 方言、旺藏 [dBang-gtsang] 郷の Wangtsang 方言、洛大 [Ri-dwangs] 郷の Ridang 方言を扱う仁増旺姆 (2013)、桑霸 [Byams-'bab] 郷の Byambab 方言を扱う共確加措 (1987) などがある。鈴木 (2015) でも取り上げたが、The-bo Tshul-khrims (2013:257) によると、迭部県内のチベット系諸言語はおおよそ以下の6種類に分かれ、これをそのまま方言区画として考えることができる。なお、この分類を Tournadre & Suzuki (2022) の分類と比べると、表1のように整理できる。

表1：迭部県内のチベット系諸言語 分布と分類

The-bo Tshul-khrims (2013)	Tournadre & Suzuki (2022)
益哇 [gYi-ba] 郷、電尕鎮	Thewo-stod (上迭部)
達拉 [sTag-ra] 郷	dPalskyid (巴西)
卡壩 [Kha-ba] 郷、尼傲 [Nyin-'go] 郷、旺藏郷	Thewo-smad (下迭部)
多兒 [rDo-ra] 郷、阿夏 ['A-zha] 郷	Thewo-smad
桑壩郷	Thewo-smad
洛大郷、臘子口 [lHa-gzigs-'gag] 郷	Thewo-smad

以上のうち、Thewo-smad 方言群については記述が少なく、その方言特徴と下位分類についてはさらに詳細な研究が必要とされるが、筆者のフィールドワークで得た資料を踏まえて考えると、The-bo Tshul-khrims (2013) の分類は、同方言群の下位方言群としてそれぞれ独立すると考えてよいと見込まれる。それぞれ上から順に、Thewo-bar (中迭部) 下位方言群、Thewo-lho (南迭部) 下位方言群、Byambab 下位方言群、gSerp0 (黒峪) 下位方言群² となる。図2は、以上の分類を反映させた分布図である。

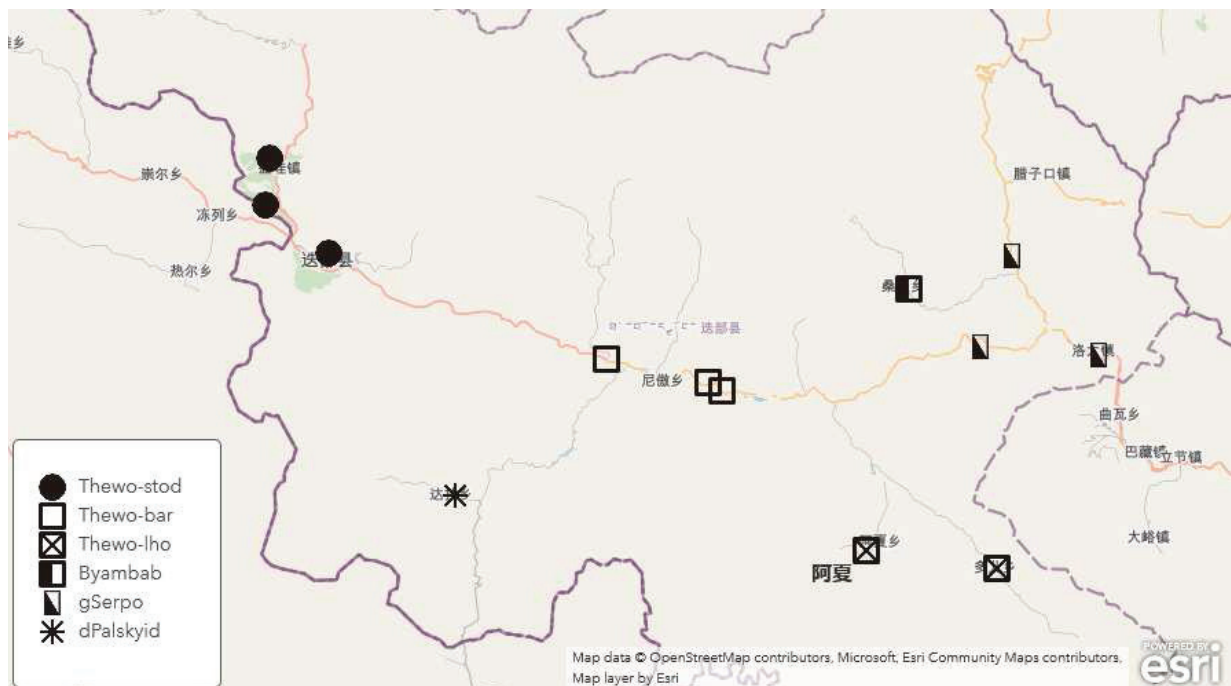


図2：迭部県内のチベット系諸言語

本稿で取り上げる'Azha 方言は、現地のチベット人から見ると、九寨溝県のチベット系諸言語に近いと考えられているが、その中でも大録 [sTag-lo] 郷や玉瓦 [gZhung-ba] 郷の方言に近いと言われている³。gZhungwa 方言については鈴木 (2008) の記述がある。それによると、

² この名称は、東接する舟曲県の地名に由来する。鈴木 (2015) を参照。

³ 現地のチベット人による相互理解度の観点から見た理解では、'Azha 方言よりも多兒郷の rDora 方言のほうが九寨溝県のチベット系諸言語に近いと感じている。

gZhungwa 方言は dPalskyid 方言群 Babzo (包座) 下位方言群に分類される。このため、'Azha 方言の特徴をチベット言語学的に明示的に記述すれば、gZhungwa 方言との対照にも役立つといえる。

1.2 本稿の内容と構成

本稿の目的は、'Azha 方言の音体系および記録した語形式を示し、また同方言の音形式と蔵文形式の対応関係を明らかにすることである。蔵文と口語形式の対応関係を探るというチベット系諸言語における伝統的な手法 (西 1986; 西田 1987; 江荻 2002; 張濟川 2009:259-357 など) に基づき、方言研究すなわち歴史言語学的研究に寄与する特徴について論じ、同時にその基礎とする語彙集を提示するものである。

本稿の構成は次のようである。まず 2 節で 'Azha 方言の音体系の一覧を提示する。ついで、3 節で 'Azha 方言の蔵文対応形式を記述し、考察を加える。

本稿で用いる音表記は、Tournadre & Suzuki (2022) に言及される *pandialectal phonetic description* に従う。具体的には、国際音声字母 (IPA) で規定されるもののほか、朱曉農 (2010) で明確に定義される主に中国で使用されている音声記号も断りなく用いる⁴。

'Azha 方言の言語資料は、筆者が 2014-2015 年にかけて、華侃 主編 (2002) の語彙表に基づいて収集した一次資料を用いる。主たる調査協力者はルンドウ [IHun-grub] さん (男性、20 代) で、阿夏郷出身である。

2 'Azha 方言の音体系一覧

ここでは 'Azha 方言の音体系を音節構造、子音、母音、超分節音素の順に紹介する。

音節構造

音節構造は、鈴木 (2005) を参照して以下のように記述する。

$${}^c C_i G V$$

このうち C_i (主子音) と V (音節核の母音) が必須である。

最初頭子音^cは特定の子音に限られ、通常は主子音よりも聞こえが低い。わたり音 G は $/w, j/$ に限定される。よって最大の初頭子音の構造は 3 子音連続となる。

音節核は 1 つの母音のみで構成されており、母音連続は 1 音節として認めない
末子音は現れない。

子音

音節構造の主子音位置に現れる音素の一覧は表 2 のようになる。

⁴ Suzuki (2016) もあわせて参照。

超分節音素

'Azha 方言には、発声類型の異なりが認められ、高低レジスターの差異として記述する⁶。高レジスターを有標とし、語頭に°を付して表す。一方、低レジスターは無標である。最小対として、たとえば、°to「投げる」とto「両/2」など。

高レジスターは、声門の緊張が高くかつ高ピッチに代表される特徴をもち、時にきしみを伴う。その発声は、朱曉農(2010)のいう「高域」に相当すると考える。一方、低レジスターは「中域」に相当し、有標な発声の特徴をもたない⁷。ピッチの相対的な高さは弁別に寄与せず、音節末における上昇や下降もまた弁別的ではない。

レジスターは、その音声学的性質上、音節を単位として現れるが、複音節語については、最初頭の音節のレジスターが有意であると分析する⁸。

3 'Azha 方言における蔵文と口語形式の対応関係

本節では、蔵文形式をもとに、'Azha 方言と蔵文との音対応を記述する。ただし、記述はまず口語形式の初頭子音部分(3.1)と母音+末子音部分(3.2)の2種に分け、それぞれさらに下位区分を設けて議論する。最後に、複数の音節にわたる現象(3.3)についてまとめる。

なお、超分節音素については、蔵文との対応関係では扱うことが困難であることが予見されるため、本稿では議論しない。

蔵文は de Nebesky-Wojkowitz (1956) に基づく転写で示し、例語に続けて()に入れ、イタリック体で掲げる。チベット文字の表す音価は格桑居冕・格桑央京(2004:379-390)を参照。

3.1 初頭子音字部分

初頭子音は、それが語頭に位置するか語中に位置するかで若干の異なりが認められる。本稿では、語頭に位置する例についてまとめ、適宜語中にくる場合について述べる。

扱う項目としては、蔵文単子音字の音対応、蔵文阻害音基字に先行する子音字がつく形式の音対応、蔵文足字 y 対応形式、蔵文足字 r 対応形式、蔵文基字 l および足字 l, lh 対応形式、蔵文足字 w 対応形式、蔵文 s+ 鼻音字を含む形式、前鼻音を含む子音連続、そのほかの特徴に分ける。

⁶ 本稿のいう「レジスター」については、鈴木(2007, 2010, 2013a)、Suzuki(2005, 2008, 2022:295-303)などの記述も参照。

⁷ なお、超分節音の分析については、'Azha 方言と近い関係にあるチベット系諸言語について、低レジスターを有標とする分析が提出されている(Suzuki 2015a; Chirkova et al. 2021)ことから、将来的には分析の枠組みが変わる可能性もある。

⁸ ここでいう「語」は音韻語を考えるが、語の定義に当たってはさらに詳細な研究が必要である。また、接頭辞を伴う動詞形態論についても、語幹のレジスターの現れについて、さらに考察を要する。

3.1.1 単子音字の対応関係

以下、蔵文有気音字、非有気音閉鎖・破擦音字、摩擦音字、共鳴音字に分類して掲げる。

蔵文有気音字 kh, ch, th, ph, tsh は、一部の ph を除いてそれぞれ調音位置の対応する有気音で現れる。たとえば、(1) のようである。

(1)

k ^h a: 「雪」 (<i>kha ba</i>)	°p ^h a 「ぶた」 (<i>phag</i>)
°tɕ ^h u 「水」 (<i>chu</i>)	ts ^h ə ma 「とげ」 (<i>tsher ma</i>)
t ^h a 「平原」 (<i>thang</i>)	

蔵文非有気音閉鎖・破擦音字 k, g, c, j, t, d, p, b, ts, (dz, ⁹) ∅ (=a chen) は、b および少数の p を除いてそれぞれ調音位置の対応する無声無気音で現れる。たとえば、(2) のようである。

(2)

ka: 「柱」 (<i>ka ba</i>)	°pɛ mɜ 「蓮」 (<i>pad ma</i>)
ko zi 「衣服」 (<i>gos zan</i>)	pe 「チベット人」 (<i>bod</i>)
tɕɜ la 「もの」 (<i>ca lag</i>)	°tse ^h te 「梅檀」 (<i>tsan dan</i>)
tɕɜ 「茶」 (<i>ja</i>)	?a yu 「父方のおじ」 (<i>a khu</i>)
to: 「煙」 (<i>du ba</i>)	

蔵文摩擦音字 sh, zh, s, z, h, ’ は、調音位置について次のような対応関係を認める。

sh, zh: 軟口蓋摩擦音
s, z: 歯-歯茎摩擦音
h: 声門摩擦音
’: 唇歯接近音

h と ’ を除き、有気と無気の対立を見せる。sh, s は無声有気音、zh, z は無声無気音に対応する。h は無声音に、’ は有声音に対応する。たとえば、(3) のようである。

(3)

°x ^h ɜ 「肉」 (<i>sha</i>)	sɔ ^m bɜ 「橋」 (<i>zam ba</i>)
xɔ xɔ 「母方のおじ」 (<i>zhang zhang</i>)	°hɜ ko 「理解する」 (<i>ha go</i>)
°s ^h ɜ 「土」 (<i>sa</i>)	ve 「光」 (<i>’od</i>)

例外として、ɕo 「ヨーグルト」 (*zho*) がある。

⁹ 記録した語形式に対応例は見つかっていない。

蔵文共鳴音（鼻音、半母音）字 ng, ny, n, m, w, j は、w を除いてそれぞれ蔵文の表す音価のとおりに対応する。蔵文 w の対応形式は有声唇歯接近音となる。たとえば、(4) のようである。

(4)

°ŋʒ 3 「私（絶対格）」 (nga)	ma 「バター」 (mar)
nʒ 3 「魚」 (nya)	°uʒ mo 「狐」 (wa mo)
ne ^h pʒ 3 「病人」 (nad pa)	je: 「文字」 (yi ge)

3.1.2 蔵文阻害音基字に先行する子音字がつく形式との音対応

蔵文阻害音基字に先行する子音字の種類は多いが、音対応の観点から見れば複雑な対応関係ではない。

以下に、先行子音字が m, ’ かそれ以外かで分けて例をあげる。前者は前鼻音に対応し、後者は前気音など非鼻音が先行子音として現れる。

なお、3.1.1 で見た音対応には、有声閉鎖・破擦音が現れない。これらは蔵文において、以下に示すように、基字 g, j, d, b, dz に先行する子音字がある場合に現れる。

先行子音字が m, ’ のもの

(5) のように、先行子音字が m, ’ の場合は、ほぼ規則的に前鼻音をもつ初頭子音に対応する。なお、基字が有声音字の場合は有声音で、無声有気音字の場合は無声有気音字に対応する。

(5)

°ŋgo 「頭」 (mgo)	°k ^h ε mʒ 「腎臓」 (mkhal ma)
°ge 「伝染する」 (’gos)	°k ^h o rʒ 「庭」 (’khor ba)
°dzi 「手で支える」 (’ju)	°t ^h ε ^h u pʒ 「唇」 (mchu pa)
°ndʒ 「矢」 (mda’)	°t ^h e wo 「親指」 (mthe bo)
°ndo wʒ 「寺」 (’du ba)	°t ^h ε 「飲む」 (’thung)
°mbu 「虫」 (’bu)	°p ^h ε 「飛ぶ」 (’phur)
°ndzu: 「指」 (mdzub gu)	°ts ^h ə ^h pʒ 「胆嚢」 (mkhris pa)
°dzə ^h li 「世界」 (’dzam gling)	°ts ^h o wʒ 「生活」 (’tsho ba)

先行子音字が m, ’ 以外のもの

(6) のように、先行子音字が m, ’ 以外の場合は、前気音をもつ初頭子音に対応する。前気音は後続する主子音と有声性の点で一致するもののほか、「有声前気音＋無声無気主子音」の組み合わせも認められる。

ただし、蔵文との対応関係から見ていくと、「無声前気音＋無声無気主子音」と「有声前気

音+無声無気主子音」の2種に、規則的な音対応を認めることができる。後者は蔵文の基字が有声阻害音である場合に現れる。

(6)

^h kɛ 「吊るす」 (<i>bka</i>)	^h kɛ po 「老人」 (<i>rgas po</i>)
^h tɕa 「鉄」 (<i>lcags</i>)	^h tɕa fie 「蚤」 (<i>lji ba</i>)
^h tɕ 「馬」 (<i>rta</i>)	^h te mo 「爪」 (<i>sder mo</i>)
^h pɔ 「草地」 (<i>spang</i>)	^h pi 「吹く」 (<i>sbud</i>)
^h tsɕ 「さび」 (<i>gtsa'</i>)	^h tsɕ mɕ 「ポット」 (<i>rdza ma</i>)

ただし蔵文 sb, db の組み合わせは、それぞれ/^hv/, /^hw/に対応する。たとえば、^hvi je 「蛙」 (*sbal ba*)、^hwɔ tɕ^hɕ 「権力」 (*dbang cha*) などである。

一方、蔵文 dp の組み合わせには、^hxo mbo 「官」 (*dpon po*) のように/^hx/で対応するものがある¹⁰。

摩擦音字の場合、先行子音の有無にかかわらず有声性の観点からは蔵文と口語形式の間に対応関係がある。(7) に基字に先行子音字がある場合の例を掲げる。

(7)

^h xi 「むく」 (<i>bshig</i>)	^h se na 「金 (きん)」 (<i>gser nag</i>)
^h ɣu 「弓」 (<i>gzhu</i>)	^h zi 「豹」 (<i>gzig</i>)

3.1.3 蔵文足字 y 対応形式

蔵文足字 y 対応形式は大きく蔵文 Py 対応形式と Ky 対応形式に分かれる。蔵文 Py とは基字 p, ph, b に足字 y を伴う形式を含む形式についていい、蔵文 Ky とは基字 k, kh, g に足字 y を伴う形式を含む全ての対応形式についていう。

蔵文 Py は基本的に前部硬口蓋摩擦音が対応する。たとえば、(8) のようである。

(8)

^h i 「開ける」 (<i>phye</i>)	ɕa 「与える」 (<i>sbyin</i>)
^h ɕɕ 「鶏」 (<i>bya</i>)	

一方、歯-歯茎阻害音が対応する例がある。たとえば、(9) のようである。

¹⁰ この対応関係は、アムドチベット語などからの借用語である可能性がある。アムドチベット語では、/xw, ɣw/などに対応するものがある。華侃 主編 (2002)、王雙成 (2012) などを参照。

(9)

^hse k^h3 「春」 (*dpyid ka*) ⁿdze 「貼る」 (*'byar*)

ただし蔵文 dby 対応形式は、^ofi ja ŋo 「夏」 (*dbyar kha*) のようである。
蔵文 Ky は基本的に歯-歯茎破擦音が対応する。たとえば、(10) のようである。

(10)

^ots^hə 「犬」 (*khyi*) ^{fi}tse 「8」 (*brgyad*)
^{fi}ts3 「漢族」 (*rgya*)

一方、前部硬口蓋破擦音が対応する例がある。たとえば、(11) のようである。

(11)

^otɕ^hu 「あなた」 (*khyod*) ⁿdzɯ ^ht3 「ブーツ」 (*'gyug rta*)
^oh tɕə^h po 「幸せな」 (*skyid po*)
^otɕ^hu ^{fi}dza ⁿts^ho 「海」 (*chu rgya mtsho*)

ただし、^ots^he: 「あなたたち」 (*khyed rang*) のような例があることから、後続母音の性質が初頭子音に与える影響がある可能性もある。

3.1.4 蔵文足字 r 対応形式

蔵文足字 r を含む形式には、Pr (=pr, phr, br を含む形式)、Kr (=kr, khr, gr を含む形式)、tr/dr など閉鎖音を含むもののほか、sr などもある。^oAzha 方言では、Pr, Kr, tr/dr, sr で異なる対応関係を示す。それぞれ順にみていく。

まず、Pr 対応形式はそり舌閉鎖音で現れるものが多数である。たとえば (12) のようである。

(12)

^th a to 「肩」 (*phrag to*) t a 「岩石」 (*brag*)
^oh tʃi m3 「猿」 (*sprel ma*) ^on dɕe 「米」 (*'bras*)

ただし、特に蔵文 spr, sbr 対応形式、またその他少数例については、前気音を伴うそり舌摩擦音もしくは r/で現れるものもある。たとえば (13) のようである。

(13)

^oh ʃi: 「雲」 (*sprin dkar*) ^oh ʃi 「裂く」 (*dbral*)
^oh ʃi lo 「さる年」 (*sprel lo*) ^ofi ri 「蛇」 (*sbrul*)

^oru na 「ハエ」 (*sbrang nag*)

例外として、^ob₃ 「黒テント」 (*sbra*) がある。

Kr 対応形式については、歯-歯茎破擦音に対応するもの、前部硬口蓋摩擦音に対応するもの、およびそり舌閉鎖音に対応するものの3種類がある。いずれに対応するかは音韻論的な基準では決まらないようである¹¹。そり舌閉鎖音に対応するのは文化語彙が多く、読書音の影響が考えられる。

歯-歯茎破擦音に対応する例は、(14) のようである。

(14)

^ots^hi 「導く」 (*khrid*)

ⁿdzew kwə 「ほほ」 (*'gram pa*)

tso 「小麦」 (*gro*)

ⁿts^hə^hp₃ 「胆嚢」 (*mkhris pa*)

前部硬口蓋摩擦音は蔵文 skr に対応し、たとえば (15) のようである。

(15)

^oh₃ 「髪」 (*skra*)

^oh₃ca 「怖がる」 (*skrag*)

そり舌閉鎖音に対応する例は、(16) のようである。

(16)

^ot^hə^ht^hɕi 「1万」 (*khri gcig*)

t₃^hɕi 「準備する」 (*gra sgrig*)

^oh₃ta^hɕ^hi 「吉祥」 (*bkra shis*)

蔵文 tr/dr 対応形式については、(')dr のみが確認されているが、そり舌閉鎖音に対応する。たとえば、(17) のようである。

(17)

t₃ 「6」 (*drug*)

ⁿd₃e 「鬼」 (*'dre*)

t₃ɛ 「思い出す」 (*dran*)

蔵文 sr 対応形式については、基本的にそり舌摩擦音に対応する。たとえば、(18) のようである。

¹¹ この現象は他の送部県のチベット系諸言語にも認められる (仁増旺姆 2013)。

3.1.7 蔵文足字 w 対応形式

'Azha 方言では、蔵文足字 w に対応する音形式は現れない。たとえば、(23) のようである。

(23)

^hts3 「草」 (*rtswa*)

ra re 「角 (つの)」 (*rwa rwa*)

x3 「帽子」 (*zhwa*)

^ots^h3 「塩」 (*tshwa*)

3.1.8 蔵文鼻音字が基字となる形式

'Azha 方言では、蔵文鼻音字が基字として単独で現れる場合は、(4) で掲げたように、それぞれの調音位置の有声鼻音が現れる。たとえば、(24) のようである。

(24)

m3 mo 「めす綿羊」 (*ma mo*)

ɲ3 「魚」 (*nya*)

nu 「牛」 (*nor*)

^oɲ3 「私」 (*nga*)

ただし、蔵文 m を初頭子音とする語が前部硬口蓋鼻音に対応するものがある。これらは蔵文で後続母音が i または e の場合に認められる。たとえば、(25) のようである。

(25)

ɲe 「火」 (*me*)

^hɲi 「目」 (*mig*)

ɲə 「人」 (*mi*)

^hɲi 「飲み込む」 (*mid*)

ɲi 「名前」 (*ming*)

これらは古蔵文において初頭子音字が my とつづられる形式との対応を見せる。また、「目」は古蔵文 *dmyig* に対応関係がある。'Azha 方言において、蔵文 my を含む例は前部硬口蓋鼻音に対応し、たとえば、(26) のようである。

(26)

ɲu 「したことがある」 (*myong*)

^hɲo ^hb3 「狂人」 (*smyon pa*)

^hɲe ^hpɯ 「芽」 (*myu gu*)

^hɲi m3 「竹」 (*smyug ma*)

以上に示した例にも見られるように、蔵文鼻音字基字に先行子音字 s が存在するとき、無声前気音が現れる。たとえば、(27) のようである。

たとえば、(29) のようである。

(29)

°s ^h ɜ 「地」 (<i>sa</i>)	°tɕ ^h u 「水」 (<i>chu</i>)
ru ^h pa 「骨」 (<i>rus pa</i>)	ŋe 「火」 (<i>me</i>)
°ndɜ 「矢」 (<i>mda'</i>)	ʰto 「石」 (<i>rdo</i>)
rə 「山」 (<i>ri</i>)	

なお、a を母音字とする末子音の伴わない音節が語中にある場合、/ɜ/ではなく/a/に対応する傾向がある。たとえば、°k^hɜ 「口」 (*kha*) に対して k^ha^hpu 「あごひげ」 (*kha spu*) のようである。

3.2.2 蔵文後接字が閉鎖音字のとき

蔵文後接字が閉鎖音字 (b, d, g) の場合の語末位置における基本的な対応関係は、表 4 のように示すことができる。

表 4：蔵文後接字が閉鎖音字の形式の音対応

V\C	b	d	g
a	ɔ	e	ɑ
i	i	i	i
u		i	u
e	i	e	ɑ
o		e	u

以上の中には、語中に現れるものでも表 4 のように対応するものが多い。

表 4 に対応する具体例は、(30) のようである。

(30)

°k ^h ɔ 「針」 (<i>khab</i>)	pe 「チベット人」 (<i>bod</i>)
ʰti 「陥没する」 (<i>rdib</i>)	°fi ^h ya 「放置する」 (<i>bzhag</i>)
°li dza 「平らな」 (<i>leb ?</i>)	°fi ^h ni 「目」 (<i>mig</i>)
°hke 「声」 (<i>skad</i>)	°ndu 「龍」 (<i>'brug</i>)
°fi ^h ni 「飲みこむ」 (<i>mid</i>)	°sa 「やけどする」 (<i>sreg</i>)
p ^h i li 「肥料」 (? <i>lud</i>)	°su 「命」 (<i>srog</i>)
x ^h e mo 「力」 (<i>shed mo</i>)	

3.2.3 蔵文後接字が鼻音字のとき

蔵文後接字が鼻音字 (m, n, ng) の場合の語末位置における基本的な対応関係は、表 5 のように示すことができる。

表5：蔵文後接字が鼻音字の形式の音対応

V\C	m	n	ng
a	ɔ	ɛ	ɔ
i		i	i
u	ʊ	i	ʊ
e		i	
o	u	a	u/ʊ

以上の中には、語中に現れるものでも表5のように対応するものが多い。
表5に対応する具体例は、(31)のようである。

(31)

°fi _{no} 「雨」(<i>gnam</i>)	la「はさむ」(<i>lon</i>)
h _{su} 「三」(<i>gsum</i>)	°h _{po} 「草地」(<i>spang</i>)
tu「熊」(<i>dom</i>)	°x _{hi} 「木」(<i>shing</i>)
°h _{mɛ} 「薬」(<i>sman</i>)	°t _u 「飲む」(<i>'thung</i>)
°h _{ni} 「熟れる」(<i>smin</i>)	°t _u 「見える」(<i>mt hong</i>)
fi _{ti} 「7」(<i>bdun</i>)	me lu「鏡」(<i>me long</i>)
°ɕ _{hi} 「屁」(<i>phyen</i>)	

3.2.4 蔵文後接字がその他の子音字のとき

蔵文後接字がその他の子音字 (r, l, s) の場合の語末位置における基本的な対応関係は、表6のように示すことができる。

表6：蔵文後接字がその他の子音の形式の音対応

V\C	r	l	s
a	a/ɛ	ɜ	ɛ
i		e/i	i
u		i	e
e	e	i	i
o	o	i	e

以上の中には、語中に現れるものでも表6のように対応するものが多い。
表6に対応する具体例は、(32)のようである。

(32)

ma 「バター」 (<i>mar</i>)	°fiŋi 「銀」 (<i>dngul</i>)
fiɣɛ 「剃る」 (<i>bzhar</i>)	tʃi 「騾馬」 (<i>drel</i>)
s ^h e s ^h e 「黄色い」 (<i>ser ser</i>)	°hki 「淹れる」 (<i>skol</i>)
°hko 「運転する」 (<i>skor</i>)	rɛ 「布」 (<i>ras</i>)
°hɲɜ 「発酵する」 (<i>snyal</i>)	°fiŋi 「二」 (<i>gnyis</i>)
ts ^h e 「脂肪油」 (<i>tshil</i>)	kwɔ ti 「いつ」 (<i>gang dus</i>)
°hɬsi 「中間」 (<i>dkyil</i>)	°ts ^h e 「染料」 (<i>tshos</i>)

3.3 複数の音節にわたる特徴

ここでは、1つの音節を見るだけでは説明のできない2つの特徴について述べる。1つは長母音に関するものであり、もう1つは語中における有声前鼻音と有声前気音の対応についてである。

3.3.1 長母音の音対応

先に示した表3～6において、長母音がまったく現れないことが分かる。’Azha 方言の長母音は、そのほとんどの場合、蔵文の2音節形式に由来し、本来2音節あるはずの形式が縮約し1音節になることによって、長母音として実現するものと分析できる。

長母音と蔵文の対応関係は、たとえば (33) のようである。

(33)

k ^h ɑ: 「雪」 (<i>kha ba</i>)	k ^h ɔ: 「スープ」 (<i>khu ba</i>)
°na: 「耳」 (<i>rna ba</i>)	fi ^h te: 「村」 (<i>sde ba</i>)
x ^h ɑ: 「鹿」 (<i>shwa ba</i>)	°h ^h tɕɑ: 「舌」 (<i>lce ba</i>)
°hke: 「分け前」 (<i>skal ba</i>)	°h ^h tɕ ^h ɑ: 「牙」 (<i>mche ba</i>)
°hɕi: 「雲」 (<i>sprin pa</i>)	°s ^h o: 「背負いかご」 (<i>slel po</i>)
ɕu: 「ねずみ」 (<i>byi ba</i>)	s ^h o: 「炭」 (<i>sol ba</i>)
tɔ: 「煙」 (<i>du ba</i>)	sɔ: 「鎌」 (<i>zor ba</i>)

一方、指小辞（蔵文’u, gu など）に由来する長母音もある。

(34)

°ndzu: 「指」 (<i>mdzub gu</i>)	je: 「文字」 (<i>yi ge</i>)
pi: 「小牛」 (<i>be’u</i>)	

また、以上のほかにも縮約するタイプがある。たとえば、(35) のようである。

(35)

ru: 「うさぎ」 (*ri gong*)

ts^hu: 「外見」 (*tshugs ka*)

なお、長母音をもつ代名詞がいくつか認められるが、蔵文との対応関係は明らかではない。

3.3.2 語中における有声前鼻音と有声前気音の対応

語中に位置する音節の初頭子音で、単独音節としては子音連続を伴わない形式を音対応とする音節が、有声前鼻音や有声前気音を伴う場合がある。たとえば、(36) のようである。

(36)

k^ha m^bɜ 「カム」 (*kham s pa*)

°^hle ^hbɜ 「湿った」 (*rlon pa*)

°ⁿt^ho ^hbɜ 「乾いた」 (*mthon po*)

xi ^hbɜ 「おいしい」 (*zhim po*)

°^hko ^hbɜ 「乾いた」 (*skam po*)

以上の例を見ると、先行音節の末子音字に鼻音字があることが分かる。表5を参照すれば分かるように、'Azha 方言では鼻音末子音字に対応する形式に鼻音の特徴が現れない。ただし、鼻音末子音字をもつ音節が語中にくる場合は、後続音節の前鼻音や前気音に対応するという現象が認められる。

4 まとめ

本稿では、アムド地域で話される非アムドチベット語である Thewo-smad チベット語 'Azha 方言の音形式を蔵文と対照し、その対応関係を明らかにすることで、同方言の音対応の特徴を明らかにした。このことから、次のような特徴が指摘できる。

- 蔵文の初頭子音連続のうち、Pr, Kr, Py, Ky の組み合わせに複数の音対応が認められる。
- 母音字+後接字部分について、後接字の有無と母音の長短との関連が認められない。
- 長母音を含む音節は、蔵文において複数の音節に対応する。

本稿では、'Azha 方言の超分節音素について取り上げなかった。この特徴は蔵文との直接的な対応関係から整理するのが困難であるためである。稿を改め、検討する必要がある。

付記

本研究は 2017-2020 年度日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (A) 「チベット文化圏東部の未記述言語の解明と地理言語学的研究」(研究代表者: 鈴木博之、課題番号 17H04774) および 2018-2020 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 (B) 「高精細度広域地図による中国および隣接する多言語地域の地理言語学的研究」(研究代表者: 遠藤光暁、課題番号 18H00670) の成果の一部である。

参考文献

- 鈴木博之 (2005) 「チベット語音節構造の研究」『アジア・アフリカ言語文化研究』第 69 号 1-23
 URI: <http://hdl.handle.net/10108/20212>
- 鈴木博之 (2007) 「チベット語包座 [Babzo] 方言の音声分析とその方言特徴」『アジア・アフリカ言語文化研究』第 74 号 101-120 URI: <http://hdl.handle.net/10108/42695>
- 鈴木博之 (2008) 「ヒャルチベット語九寨溝・玉瓦 [gZhungwa] 方言の音声分析」『アジア・アフリカの言語と言語学』第 3 号 135-168 URI: <http://hdl.handle.net/10108/51104>
- 鈴木博之 (2010) 「ヒャルチベット語松潘・大寨 [Astong] 方言の音声分析」『アジア・アフリカの言語と言語学』第 5 号 117-155 URI: <http://hdl.handle.net/10108/64040>
- 鈴木博之 (2012) 「甘肅省甘南州卓尼県のチベット語方言について——藏文対応形式から見た扎古録 [Bragkhoglung] 方言の方言特徴——」『京都大学言語学研究』第 31 号 1-23 doi: <https://doi.org/10.14989/182195>
- 鈴木博之 (2013a) 〈九寨溝口内外藏語語音面貌〉『アジア言語論叢』9, 37-76 URI: <http://id.nii.ac.jp/1085/00001318/>
- 鈴木博之 (2013b) 「藏文対応形式から見た舟曲県チベット語拱壩[dGonpa] 方言の特徴——舟曲県チベット語の概説を添えて——」『京都大学言語学研究』第 32 号 1-35 doi: <https://doi.org/10.14989/182202>
- 鈴木博之 (2014) 「舟曲県チベット語八楞 [Ongsum] 方言の音声記述とその方言特徴」『アジア・アフリカ言語文化研究』第 87 号 241-263 URI: <http://hdl.handle.net/10108/77225>
- 鈴木博之 (2015) 「甘南州卓尼・迭部・舟曲 3 県のチベット系諸言語とその下位分類試論」『ニダバ』第 44 号 1-9 URI: <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045560>
- 西義郎 (1986) 「現代チベット語方言の分類」『国立民族学博物館研究報告』11 卷 4 号 837-900 + 1 地図 doi: <https://doi.org/10.15021/00004359>
- 西田龍雄 (1987) 「チベット語の変遷と文字」長野泰彦・立川武蔵編『チベットの言語と文化』108-169 冬樹社
- Chirkova, Katia, Tanja Kocjančič Antolík, & Angélique Amelot (2021) Baima. *Journal of the International Phonetic Association*, first view, 1-30. doi: <https://doi.org/10.1017/S0025100321000219>
- Lin, You-Jing (2014) Thebo. In Jackson T.-S. Sun (ed) *Phonological profiles of little-studied Tibetan varieties*, 215-268. Academia Sinica.
- rNam-rgyal Tshe-brten (2008) Co-ne'i bod-skad-la dpyad-pa. 中央民族大学碩士論文
- de Nebesky-Wojkowitz, René (1956) *Oracles and demons of Tibet: The cult and iconography of the Tibetan protective deities*. Mouton.
- Sun, Jackson T.-S. (1986) *Aspects of the phonology of Amdo Tibetan: nDzorge Śāme Xsra dialect*. Research Institute for the Study of Languages and Cultures of Asia and Africa

- Suzuki, Hiroyuki (2005) Einige Bemerkungen über den Ursprung des creaky Tons im Tibetischen von Sharkhog [Songpan-Jiuzhaigou]. *Kyoto University Linguistic Research* 24, 45-57. doi: <https://doi.org/10.14989/87857>
- Suzuki, Hiroyuki (2008) Nouveau regard sur les dialectes tibétains à l'est d'Aba : phonétique et classification du dialecte de Sharkhog [Songpan-Jiuzhaigou]. *Linguistics of the Tibeto-Burman Area* 31.1, 85-108. doi: <https://doi.org/10.15144/LTBA-31.1.85>
- Suzuki, Hiroyuki (2015a) New perspective on the suprasegmentals in mBrugchu Tibetan: an introduction to the tonogenesis triggered by breathy voice. *Bulletin of Chinese Linguistics* 8.1, 117-139. doi: <https://doi.org/10.1163/2405478X-00801007>
- Suzuki, Hiroyuki (2015b) Esquisse phonétique du tibétain de dGonpa : un dialecte parlé à mBrugchu. *Revue d'études tibétaines* Vol. 33, 231-249. Online: http://himalaya.socanth.cam.ac.uk/collections/journals/ret/pdf/ret_33_07.pdf
- Suzuki, Hiroyuki (2016) In defense of prepalatal non-fricative sounds and symbols: towards the Tibetan dialectology. *Researches in Asian Languages* 10, 99-125. URI: <http://id.nii.ac.jp/1085/00002195/>
- Suzuki, Hiroyuki (2022) *Geolinguistics in the eastern Tibetosphere: An introduction*. Geolinguistic Society of Japan. doi: <https://doi.org/10.5281/zenodo.5989176>
- The-bo Tshul-khrims (2013) The-bo'i yul-skad-la cung-zad dpyad-pa. In Sum-bha Don-grub Tshe-ring (bsgrigs) *Bod-kyi yul-skad-la dpyad-pa'i gtam mu-tig phreng-ba zhes bya-ba bzhugs-so*, 254-269. 民族出版社
- Tournadre, Nicolas (2014) The Tibetic languages and their classification. In Thomas Owen-Smith & Nathan W. Hill (eds.) *Trans-Himalayan linguistics: Historical and descriptive linguistics of the Himalayan area*, 105-129. Walter de Gruyter.
- Tournadre, Nicolas & Hiroyuki Suzuki (2022) *The Tibetic languages: An introduction to the family of languages derived from Old Tibetan*. (with the collaboration of Xavier Becker and Alain Brucelle for the cartography). LACITO Publications.
- Zou, Yuxia [gYu-'brug-mtsho] & Hiroyuki Suzuki (2022) Five folktales in Bragkhoglung Tibetan of Cone. *Himalayan Linguistics* 21.1, in press.
- 周毛草 [’Brug-mo-mtsho] (2003) 《瑪曲藏語研究》民族出版社
- 華侃 主編 (2002) 《藏語安多方言詞匯》甘肅民族出版社
- 江荻 (2002) 《藏語語音史研究》民族出版社
- 格桑居冕 [sKal-bzang ’Gyur-med]、格桑央京 [sKal-bzang dByangs-can] (2002) 《藏語方言概論》民族出版社
- 格桑居冕 [sKal-bzang ’Gyur-med]、格桑央京 [sKal-bzang dByangs-can] (2004) 《實用藏文文法教程 [修訂本]》四川民族出版社
- 共確加措 [dKon-mchog rGya-mtsho] (1987) 〈色繞龍哇藏語初探〉《西藏研究》第 2 期 53-69

- 瞿霽堂 (1962) 〈卓尼藏語的聲調及聲韻母的關係〉《中國語文》331-339
- 瞿霽堂 (1996) 《藏族的語言和文字》中國藏學出版社
- 瞿霽堂、金效靜 (1981) 〈藏語方言的研究方法〉《西南民族學院學報》第3期 76-84
- 仁增旺姆 [Rig-'dzin dBang-mo] (2013) 《迭部藏語研究》中央民族大學出版社
- 桑吉次力 [Sangs-rgyas Tshe-ring] (2020) 〈迭部藏語的“清音濁化”〉 *Cahiers de Linguistique-Asie Orientale* 49.1, 1-20. doi: <https://doi.org/10.1163/19606028-bja10001>
- 孫天心 (2003) 〈求吉藏語的語音特徵〉《民族語文》第6期 1-6
- 王雙成 (2012) 《藏語安多方言語音研究》中西書局
- 楊士宏 (1995) 《一河兩江流域藏語方言匯要》甘肅民族出版社
- 楊士宏 (2009) 《安木多東部藏族歷史文化研究》民族出版社
- 張濟川 (1993) 〈藏語方言分類管見〉戴慶廈等編《民族語文論文集—慶祝馬學良先生八十壽辰文集》297-309 中央民族學院出版社
- 張濟川 (2009) 《藏語詞族研究—古代藏族如何豐富發展他們的詞匯》社會科學文獻出版社
- 鄒玉霞 (2021) 〈藏語卓尼話的歷史演變研究〉中央民族大學碩士論文
- 朱曉農 (2010) 《語音學》商務印書館

付録：'Azha 方言の語彙リスト

配列は華侃 主編 (2002) に準拠し¹³、名詞 (天文地理、人体、人物、家畜、その他の動物、植物、食物、衣料装飾、住居、生活用具、その他道具、文化教育、抽象物、位置方角、時間)、数詞、代名詞、形容詞、動詞¹⁴ の順である。

天文地理

天	°no ʷgo	山	rə
太陽	ɲə mɜ	尾根	po
光	ue	谷	lu fiɜ
月	°lɛ ka	がけ	kɛ pɜ
星	°hkɛ mɜ	岩石	tɔ
天気	°no ʷgo	洞窟	tɔ kʰu
雲	°hʃi:	洞穴	kʰu
雷	°tʰu	川	°tɕʰu / °tɕʰu lu
風	hɑ ka	湖	°nʰtsʰo
雨	°no	海	°tɕʰu ʰdʒa nʰtsʰo
虹	va ze	貯水池	°tɕʰu kʰɜ
雪	kʰɑ:	池	nʰtsʰu
雹	sʰe ra / kʰɑ: lu	溝	lu
霜	°pa	井戸	to ʰdʒu
露	si je	杭	°kʰo to
霧	°hmɜ rɜ	道	lo
氷	ʰtɕʰi ru	平原	tʰɑ
火	ɲe	沼	nɑ:
煙	tɔ:	土	tʰje
電気	°tje	畑	°sʰɜ
空気	°sʰu	農区	ru wɜ
蒸気	ʰlo pa	牧区	nʰdu ʰpa
旱魃	°tʰɛ bɜ	石	ʰto
水害	°tɕʰu lu / °tɕʰu xʰu	埃	tʰje / ʰti
世界	nʰdʒə ʰli	泥	nʰdʒe ʰba
地	°sʰɜ	水	°tɕʰu

¹³ ただし一部個別例について補足したものも含む。

¹⁴ 'Azha 方言には、動詞の語幹交替が認められる。ただし、本稿では原則的に未完了の形式を採用する。語幹交替の記述は別稿にゆずる。

泉	tɕ ^h u lə	場所	°s ^h a jɜ
温泉	°tɕ ^h u ^h ku	長江	˦də tɕ ^h u
森	°na	黄河	°fi ^h ma tɕ ^h u
草地	°hpo	ラサ	fi ^h la s ^h ɜ
金	°hse na	カム	k ^h ɑ m ^h bɜ
銀	°fi ^h ŋi	アムド	°ʔa ^h ndo
銅	sa	ポタラ宮	pu ta la
鉄	°htɕa	クンブム	°hk ^h u m ^h bɜ
さび	°htsɜ	ラプラン	fi ^h la fi ^h ɾɜ
アルミ	°ha jɜ	通り	°sɔ rɜ
瑪瑙	ɕə ru	村	fi ^h te:
炭	s ^h o:	橋	sɔ m ^h bɜ
草木灰	°thje k ^h ɜ	故郷	je

人体

体	lu ^h po	脇	˦k ^h ɛ ta
頭	°ŋgo	胸	tɔ ka
髪	°hɕɜ	乳房	nu mɜ
お下げ	°hɕa re fiɛ	乳	nu mɜ
額	t ^h e ^h pa	腹	°tɕ ^h u ŋga
眉毛	mi ts ^h ə	へそ	°tɕ ^h u ʔə ^h ta:
目	°fi ^h ŋi	腰	°hke ^h pa
鼻	to fia	尻	°fi ^h ŋo fi ^h bɜ
鼻の穴	ta k ^h u	太もも	h ^h tɕɜ ŋa
耳	°na:	ひざ	ts ^h i go p ^h o lo
顔	k ^h a ŋi	足	°hk ^h wɔ
ほほ	n ^h dze kwə	ひじ	ts ^h ə ŋa
口	°k ^h ɜ	手	la ^h pɜ / la ^h kɜ
唇	°fi ^h tɕ ^h u pɜ	腕	la ^h kɜ ts ^h i bɜ
あごひげ	k ^h a ^h pu	指	°ndzu:
もみあげ	n ^h dza ta	手のひら	la ^h di
あご	ma dzə	親指	˦t ^h e wo
首	°hke ^h tɜ	小指	°ʔa ^h fi ^h gu
肩	t ^h ɑ to	爪	s ^h e mə
背	fi ^h ke ku	指紋	°n ^h ts ^h o

拳	m ^h bu ts ^h u	喉	°fi ^h ni ^h p ³
肛門	h ^h tsa k ^h u	喉仏	°ʔo ⁿ di
男性器	za	肺	°fi ^h lo w ³
睾丸	lə ^h ka	心臓	ç ^h i
女性器	ça ^h lu	肝臓	h ^h ts ^h ə ^h fi ^h b ³
皮膚	°x ^h a pa	腎臓	h ^h k ^h ε m ³
しわ	°h ^h tsi ka	胆嚢	n ^h ts ^h ə ^h p ³
あざ	na x ^h ʒ	腸	fi ^h tsu m ³
傷	°fi ^h m ³	大便	°h ^h tsu:
傷口	°fi ^h m ³ tç ^h ε s ^h ʒ	小便	fi ^h lε fi ^h b ³
しみ	°fi ^h m ³	屁	°ç ^h i
肌	x ^h a lo w ³	汗	°fi ^h ŋi na
血	°ts ^h u	痰	k ^h a li
筋肉	°h ^h tsa fi ^h tsi	つば	tç ^h u m ³
脈	°h ^h tsʒ	鼻水	°h ^h no
脳	te ^h pa	涙	°fi ^h ni tç ^h u
骨	ru ^h pa	膿	°fi ^h na
脊椎	fi ^h ke ts ^h e pu ^h pa	垢	°ts ^h ə
肋骨	k ^h ja ta ru ^h pa	声	°h ^h ke
関節	°ts ^h i bu	死体	ro
骨髓	°h ^h kwə	命	°ç ^h u
歯	°s ^h o	寿命	°ts ^h e
歯茎	s ^h o fi ^h dzʒ		
舌	°h ^h tç ^h a:		

人物

人	ŋə	子供	ŋa ŋu
人民	ŋə mɔ	赤ん坊	ʔa ko
平民	ŋə mɔ	老人	fi ^h ke po
チベット人	pe	老婦人	mo ^h ke
漢族	fi ^h tsʒ	男	°h ^h çε ri
蒙古族	s ^h o ko	女	ka m ³
回族	xi xi	男女	ka m ³ °h ^h çε ri
半漢半蔵	fi ^h tsa m ³ pe	少年	°h ^h sə rə
大人	ŋə tç ^h ə	少女	pu mo

専門家	ɰk ^h i h ^h p ₃	客	ɰ ^h dɛ ^h bo
商人	ɰk ^h e	知り合い	ɰə ɰo x ^h e
医者	°h ^h mɛ ^h b ₃	知らない人	ɰə tɛ ^h ɰ ₃
農民	ro fio	下男	°fi ^h lu:
軍人	°fi ^h ma	祖先	ɰə t ^h u
牧民	ɰ ^h dɔ ^h h ^h p ₃	祖父	°ʔa ɰi
牧人	fi ^h tsə ^h fiu	祖母	mo
大工	°x ^h i zu:	父	°pa p ₃ / tɛa tɛ ^h ə
鍛冶屋	ɰ ^h ga r ₃	母	ma m ₃
狩人	xa ^h t ₃ / ʃe ^h ɰk ^h ə ʧə	両親	p ^h a m ₃
英雄	°h ^h pa wu	息子	pɰ
学者	je ^h de p ₃	息子の嫁	°fi ^h n ₃ m ₃
翻訳家	lo ^h ts ₃	娘	pɰ mo
こじき	la ɰə	娘婿	tɛi ^h za
泥棒	°h ^h kuw m ₃	孫息子	ts ^h u:
強盗	tɛa p ₃	孫娘	ts ^h a mo
病人	ne ^h p ₃	兄	ko ko
王	fi ^h dza wo	姉	mɛ mɛ / °ʔa j ₃
皇帝	fi ^h dza wo	弟	°h ^h pi je / °h ^h pi je tɛ ^h ɰ
官	°h ^h xo ^h m ^h bo	妹	°ʃi m ₃
首領	ɰ ^h go w ₃	父の兄	°ʔa ʧu
友人	tɛ ^h e ru	父の兄の妻	°ʃi m ₃
お供	ɰ ^h dzo ru	父の弟	°ʔa ʧu
教師	°lo sə	父の弟の妻	°ʃi m ₃ / °ʔa j ₃
靴屋	ha ^h dɰ	甥	ts ^h u:
肉屋	°h ^h xa ɰə	兄弟	°h ^h pi je
俗人	ɰə ^h ɛ ₃	姉妹	ɰi ʃi
四肢障害者	°xa ra	母の兄弟	xɔ xɔ
盲人	°fi ^h ɰi lu	母の兄弟の妻	°ʔo ne
聾啞者	°fi ^h na ve	家族	fi ^h z ₃
禿げの人	°ɰ ^h go s ^h e ^h h ^h t ₃	親戚	x ^h a ɰe / °x ^h a ts ^h a le
猫背の人	fi ^h kuw rə	夫	ma ^h p ₃
ばか者	°fi ^h lɛ b ₃ / °v ₃ rə və	妻	ɰ ^h dɰ ru
口唇裂	ɰ ^h tɛ ^h u x ^h o	双子	°h ^h tɛa ^h fi ^h dze
狂人	°h ^h ɰo ^h fi ^h b ₃	私生児	ɰo ma
どもる人	k ^h a ti		
口の聞けない人	°tɛa ke		

家畜

家畜	s ^h e dze	めす綿羊	m3 mo
牛	nu	山羊	r3
黄牛	pɛ ^h lɔ	子山羊	re:
ヤク	° ^h ja	子綿羊	lu:
めすヤク	^h də m3 / ^h də	羊毛	r3 ^h pu
子なしのめすヤク	no ^h kɔ / ^h də ^h kɔ	羊糞	ri m3
ゾ (ヤクと牛の交配種のおす)	° ⁿ dzo	騾馬	tj
めすゾ	ⁿ dzo mo	ロバ	po lu
子牛	pi:	らくだ	° ^h je mo
おす牛	° ^h lɔ	ふた	°p ^h ɑ
めす牛	°p3	めすふた	p ^h ɑ m3
乳牛	nu ^h i zə	子ふた	p ^h o:
湿牛糞	° ^h tɕw3	ふた糞	p ^h ɑ ^h tsɑ
乾牛糞	° ^h tɕw3	犬	°ts ^h ə
角	ra re	めす犬	ts ^h ə mo
ひづめ	° ^h ni ^h pu	猟犬	x ^h ɑ ^h t3
皮	° ^h pɑ ^h k3	犬糞	ts ^h ə ^h tsɑ
毛	° ^h pu ri	猫	°ʔɑ lu
毛の色	° ^h pu ⁿ du	うさぎ	ru:
尾	° ^h ɲ3 m3	鶏	°ɕ3
馬	° ^h t3	おんどり	te wo
子馬	° ^h ti tɕu	めんどり	te mə
おす馬	° ^h ta wo	ひよこ	ɕi ru
めす馬	° ^h ta mo	とさか	te wo se la
鬣	° ^h t3 re	翼	^h xo tɕɑ
馬糞	° ^h tɕi li	羽	ɕɑ ^h pu
羊	r3	鶏糞	ɕɑ ^h tsɑ
綿羊	lu		

その他の動物

野獣	rə ta	虎	° ^h ta / v3 lu
猛獣	° ^h tɕɛ zɛ	獅子	°s ^h e ^h ge

龍	° ⁿ dɯ	ふくろう	vu pɜ
爪	^f te mo	ツバメ	x ^h a la ɕɯ:
猿	° ^h ti mɜ	すずめ	ɕi mɜ
象	° ^f la ^f bu tɕ ^h e	こうもり	p ^h ɜ ^f go bo
野牛	° ^f ke ^f ja	からす	k ^h ɜ ^h tɜ
豹	° ^f zi	啄木鳥	°x ^h i ^f ta mo
熊/パンダ	tu	カッコウ	°k ^h ɯ kɯ
ヒグマ	tɕe mo	孔雀	°ɕa ^f ma ja
いのしし	p ^h a ^f ke	亀	s ^h ɜ ^f da re ja
鹿	x ^h a:	蛇	° ^f ri
黄羊	^f go wɜ	蛙	° ^f vi je
キバノロ	° ^f la:	おたまじゃくし	°k ^h ɔ ^f bɯ
麝香	° ^f lɜ ^h tsə	魚	ɲɜ
かわうそ	°ɕɔ	虫	^m bu
ヤマアラシ	°ɕ ^h ɜ ^f bo fiɜ	蚤	^f tɕɯ fie
ねずみ	ɕɯ:	しらみ	°x ^h i
ねずみ糞	ɕɯ: ^h tsa	ハエ	° ^f ru na
リス	ɕə ^h ta mo	アブ	^h tsa ^f lɯ
いたち	li ^f ke	蚊	vu ze
ジャッカル	^m p ^h ɜ fiə	蜘蛛	^f ba ^f to
狼	° ^h ɕɔ ^f gu	蜘蛛の糸	^f ba ^h ta
狐	°uɜ mo	ミミズ	^f to lɯ
鳥	ɕi ru	アリ	tsu tsa tsu mɜ
鳥の巣	ɕi ru ^h ts ^h a / ɕa ts ^h a	アリ塚	tsu tsa tsu mɜ ts ^h a
鳥糞	ɕa ^h tsa	ミツバチ	° ^f ru:
鷹	ɕɛ ^f ke	蝶	ho mo la dza
とんび	ts ^h ɜ		
はやぶさ	ɕi ^f la		

植物

木	°x ^h i	花	me tu
枝	ja ^f lɜ	芯	na ri
苗	^f tu t ^h ɯ	芽	° ^f ɲe ^h pɯ
根	^h tse pɜ	柳	° ^h tɕwe mo
葉	°na lo	柏	°x ^h ɯ ^h kɜ

ぶな	°ts ^h i ^h ka / °ts ^h i na	麦の殻	t ^h sa ^h ke
梅檀	°tse ^h te	とうもろこし	pɔ ku
竹	° ^h ni m3	野菜	° ^h ŋe
とげ	ts ^h ə ma	唐辛子	la tɕu
果物	x ^h i ^h dɕe	たまねぎ	°tsu
桃	t ^h ɔ ru	にんにく	^h ko k3
梨	°ku	白菜	°ki:
柿	ⁿ da da	食用種子	p ^h a ^h to
はすの花	me tu °pɛ m3	豆	°sɛ lu
冬虫夏草	° ^m bɯ	大豆	°sɛ m3
胡桃	° ^h te ^h g3	蚕豆	°sɛ m3
穀物	lo	えんどう	°sɛ lu
食料	° ⁿ dɯ	草	° ^h ts3
米	° ⁿ dɕe	きのこ	x ^h a mo
種	s ^h a ŋe	人参果	tso m3
玄米	ⁿ dɔ ^h bu	ひまわり	ŋə m3 me tu
小麦	tso	米	ⁿ dɕe
青稞	ne		
麦 (植物)	s ^h o m3		

食物

ごはん	s3	赤身	x ^h 3 na
粥	ⁿ dɕe tɕ ^h ə / ⁿ dɕe ^h ba ^h bo	油	°je
小麦粉	°ɕ ^h e	植物油	°je
豆粉	sɛ ɕ ^h e	脂肪油	ts ^h e
モモ	k ^h a s ^h o	バター	ma
麺	°ŋo ta	ヨーグルト	ɕo
蒸しパン	°pu dzə	チーズ	tɕ ^h u r3
ケーキ	°t ^h i	初乳	^h tə
乾物	^h ze	ツアンパ	° ^h tsɔ ^h b3
朝食	nɔ ^h ze	牛肉	no x ^h 3
昼食	ku ^h ze	ソーセージ	ts ^h i ^h tsu / x ^h 3 ^h tsu
夕食	ⁿ ts ^h ɛ ^h ze	塩	°ts ^h 3
ミルクティー	tɕa xo	花椒	° ^h je m3
肉	°x ^h 3	卵	^h ko ŋɔ

スープ	tɕ ^h u ^h ke / k ^h ɔ:	薬	° ^h mɛ
酒	tɕ ^h ɔ	ぶたの餌	°p ^h a tɕɛ
湯	tɕ ^h u lo tsɜ	馬の餌	tɕ ^h ɛ
茶	tɕɜ	鼻タバコ	° ^h nɜ t ^h ɜ
タバコ	° ^h ɜ pɜ		

衣料装飾

糸	° ^h ku ^h pɜ	股引	nɜ ɕi
布	rɛ	靴	ha
絹	°ta	ブーツ	ⁿ dzɯ ^h tɜ
絹製品	° ^h u	シャツ	ts ^h ə le
プル (分厚い生地 of 民族衣装)	° ^h u	起毛ジャケット	° ^h tso ^h pɜ
コート	rɛ lɜ	ハンカチ	la ɕ ^h e
袈裟	^{fi} zɛ	櫛	s ^h ə ma
衣服	ts ^h a tɕ ^h i	宝石	re ^{fi} bo tɕ ^h e
チュバ (長い袖 of 民族衣装)	rɛ lɜ	珊瑚	ɕu ru
襟	ko:	ジャスパー	° ^{fi} ju
袖	p ^h u ru	象牙	° ^{fi} la bu tɕ ^h e ^h tɕ ^h a:
ボタン	t ^h e ju	イヤリング	° ^{fi} nɜ lu
ズボン	^h ko la	指輪	ⁿ dzɯ: / ⁿ dzɯ ɕi
スカーフ	^u go ɕi	ブレスレット	te ju
帽子	xɜ ri / xɜ		
ベルト	° ^h ke ra		

住居

毛布	° ^{fi} tɛ	牛小屋	no rɜ
枕	° ^h ŋɛ ^{fi} go	ぶた小屋	p ^h a zɜ
布団	° ^h tsɜ ^{fi} tɛ	山羊小屋	rɜ ts ^h ɔ
座布団	° ^{fi} tɛ	綿羊小屋	lu ts ^h ɔ
家	x ^h a ŋo	鳥小屋	°ɕɜ ts ^h ɔ
屋根	nɜ ^{fi} gwɔ	レンガ	°tɕə p ^h a
宿屋	° ^h ɛ ɕə	瓦	°vɜ
軒	ɕɛ ^{fi} do	壁	^u k ^h a
キッチン	t ^h ɔ k ^h ɜ	丸太	°x ^h i

板	°k3 t3	梁	°p ^h u
柱	ka:	ステップ	^h dza h ^h kε / ° ^h tsə h ^h kε
門	^h ko m3	テント	° ^h b3
問	^h ko ta / ^h ko tε	竹垣	r3
玄関	^h ts3 ^h ko	庭	^h k ^h o r3
窓	t ^h a ju	トイレ	°ca lu
階段	^h dza h ^h kε / ° ^h tsə h ^h kε		

生活用具

もの	tε3 la	スプーン	tεa h ^h ti
テーブル	tεo h ^h tse	しゃもじ	°tε ^h u h ^h tci
いす	ca tu	ボウル	° ^h kə ji
ベッド	n3 s ^h a	皿	^h te tse
箱	^h ko ^h bui	箸	°xu ^h du
キャビネット	^h ko ^h bui	瓶	°kə ru
入れ物	^h ko tε ^h u	ポット	^h ts3 m3
ガラス	me lu	甕	^h ts3 m3
鏡	me lu	壺	^h gu ze
箒	pi tεa	魔法瓶	t ^h je xu
明かり	°ka me	水がめ	^h ts3 m3
蝋燭	la lo	バケツ	°tε ^h u so
薪	^h yo	背負いかご	°s ^h o:
炭	s ^h o:	秤	^h tsa m3
マッチ	ja xo	お金	^h go mo
松明	me m ^h ba	資金	n3 ^h pu
線香	° ^h pe	利息	° ^h pu
ごみ	ko li	商品	n ^h ts ^h o ^h dzi
染料	°ts ^h e	定規	t ^h a x ^h i
かまど	t ^h o k3	針	°k ^h o
鉄なべ	° ^h lo dzu ° ^h tεa h ^h la	錐	° ^h b ^h u
フライパン	° ^h lo dzu	釘	° ^h tεa ze
蒸し器	lu tε ^h o	はさみ	tεje n ^h dze
ふた	k ^h a ja	はしご	°tsə h ^h kε
ナイフ	tsu:	鎖	°s3
柄杓	°k ^h a h ^h tu	鍵	^h de ni

車輪	ʔk ^h o lo	牛の鼻輪	°h ^h na lɯ / °h ^h ne ^h tɕɯ
棒	ʔte ʔga / ʔdzɔ	めがね	°ʔ ^h ɲi rɔ
鞍	°h ^h tɔ ʔkɔ	印鑑	°t ^h i
馬籠頭	ʔgo ʔdɯ	牛皮繩	°ts ^h ə ^h pɔ
馬腹帯	°ʔ ^h lo	飛行機	°h ^h tɕa ɕɔ
馬嚙子	°sɔ	自転車	°h ^h tɕa ^h tɔ
しりがい	ɲo ʔ ^h ɲi		
くびき	ɲɔ x ^h i		

その他道具

道具	tɕɔ la	ふるい	°ts ^h a ^h ʔdi
斧	°h ^h ta ri	碾き臼	°tɕ ^h ɯ ^h ɲ ^h t ^h a
金槌	t ^h o tɕɯ	なた	x ^h a ʔdi
のみ	°ʔ ^h bɯ	ほら貝	tɯ ʔga
鋸	s ^h o le	矛	ʔdɯ
やすり	tɯ ʔta	的	°m ^h bɛ
かな	t ^h ja:	鞆	tsə x ^h ɯ
のり	ʔdze: h ^h ɕə	銃	°m ^h p ^h o
スコップ	°h ^h tɕa k ^h ɛ	弾	°n ^h dɔ
鍬	°m ^h ɛ x ^h i	弓	°ʔ ^h ɣɯ
鋤	°h ^h kɔ	矢	°n ^h dɔ
ガソリン	tɕ ^h i jɯ	わな	°n ^h dzi
刃物の柄	°jɯ ʔie	落とし穴	°n ^h dzi
取っ手	°jɯ ʔie	毒	tɯ
くさび	°x ^h i ze	磨き粉	la ɲ ^h t ^h ɔ
縄	°t ^h a ʔgɔ	キルト	p ^h ɯ kja
肥料	p ^h i ri	マットレス	ɲɔ ʔte
鎌	sɔ:		
水槽	°vɔ vɔ		

文化教育

文字	je:	本	mɔ ^h pe
手紙	je:	紙	x ^h u x ^h u
絵	rə mo	ペン	ɲ ^h də ɕɯ

インク	°hna ts ^h ɜ	輪廻	ŋk ^h o wɜ
学問	jo ^h da	運	hse na / hse na k ^h a le
話	ɕu ri	縁	le
チベット語	pe ^h kɛ	善行	fi ^h ke:
チベット文語	pe ji	凶兆	ŋt ^h a
名前	ŋi	ラマ	°fi ^h lo mo
記号	°hta	活仏	°htu ^h hkuw / °fi ^h lɜ mɜ
物語	hta ^h pe	僧院長	ŋk ^h ɛ ^m bo
ことわざ	hta ^h pe	僧侶	?a kuw
笑い話	fi ^h ka ^h ɕe	尼	tɕo mo
声	°hkɛ ^h fi ^h go	ボン教	pe ^h bo
歌	°fi ^h lu	還俗僧	°ɕ ^h ɔ lu
民謡	°fi ^h lu	施主	fi ^h ke:
踊り	°ŋtɕ ^h ɔ	占い師	mo ^h di
太鼓	pa tɔ	地獄	°fi ^h ŋɜ wa
どら	k ^h ɛ ŋo	閻魔	°hxi ^h fi ^h dze
シンバル	fi ^h bu tɕ ^h ɛ	寺	n ^h do wɜ
竹笛	°fi ^h le ju	経堂	n ^h do wɜ
ラッパ	fi ^h tɕa ^h le	経院	tɜ ts ^h a
タンカ	t ^h ɔ ŋk ^h ɜ	六字真言	ma ne
お面	°mba	焼香	°hsa
宗教	tɕ ^h e lu	白塔	ŋtɕ ^h e ^h fi ^h ti
宗派	tɕu ^h n ^h t ^h a	火葬	ro ^h ɕa
信仰	tɛ ^h pɜ	マニ石	la ^h tɕɛ
神仏	fi ^h lɜ / fi ^h lɜ ɕu ^h mɜ	墓	ro ^h fi ^h ti
女神	fi ^h lɜ mo	仏像	fi ^h la ^h kuw
鬼	n ^h dɛ	バター灯	ŋtɕ ^h e ^h me
女鬼	fi ^h ti mɜ	カタ	°k ^h ɜ t ^h a
悪魔	fi ^h ti	護身符箱	°hkɜ ^h fi ^h i
竜神	°hlu	いけにえの動物	°ts ^h e t ^h a
仏陀	s ^h ɔ fi ^h dze	呪文	°hŋa
霊魂	fi ^h no x ^h i	お経	tɕ ^h e
魂	°fi ^h lɜ	数珠	t ^h e:
円寂	hɕa s ^h u	仏像彫刻家	fi ^h lɜ zo
天堂	fi ^h la ji	金剛	fi ^h do dzi
来世	°ts ^h e ɕ ^h ɔ mɜ	マニ車	ŋk ^h o lo

布施 ^{fi}ke:

抽象物

地位	ko s ^h 3	考え	tɛ n ^{ts} h ^u / °hso n ^{ts} h ^u
権力	°fiwo tɛ ^h 3	外見	ts ^h u:
生活	n ^{ts} h ^o w3	事情	ɕ3 wo
給料	°p ^h u	方法	°fi ^l u
分け前	°hke:	性格	°tɔ
税金	ts ^h e	力	°ʔe k ^h 3 / x ^h e mo
優待	fiɔ s ^h 3	監獄	°hka di
用途	°p ^h ɛ t ^h u s ^h 3	うわさ	k ^h 3 ŋɛ
間違い	nu	罪	°ŋe / °ŋe w3
危険	°ɕ ^h a s ^h ɔ	裏地	nɔ m3
区別	m3 h ^t ɕi s ^h 3	裸足	°hkɔ fi ^d zi / °hkɔ fi ^d zi m3
空間	°hto w3	引き出し	tɕ ^h u t ^h i
吉祥	°hta ɕ ^h i	武器	n ^{ts} h ^o n ^{ts} h ^a
感謝	fiɔ n ^{ts} h ^e	勝利	tɔ
裂け目	ke	国家	fi ^d z3 k ^h a
痕跡	fi ^d zi	会議	ts ^h o n ^d u / °ts ^h u
影	tsi mo	距離	°t ^h ɔ w3
色	°ndu	歩行	°hkɔ t ^h ɔ
夢	°fi ^ŋ i la		
精神	°s ^h i		

位置方角

方向	k ^h a ɕ ^h u	隅	suu ku
東	x ^h a ɕ ^h u	先端	°htso ke
西	ŋə m3 n ^d zi ɕ ^h u	周り	n ^t h3 ɕ ^h i
中間	°htsi / °htsi ku	近所	suu k ^h 3 rə
そば	suu k ^h 3	境界線	°hta
前	°hŋ3 s ^h o	頂上	°t ^h u rə
後	ɕə s ^h o	上側	°k ^h a rə
外側	°fi ^t sa fiu	下側	xo rə
内側	nɔ rə	上	°t ^h u rə

下	xo rə	上へ	je rə / je
下の方	xo rə	下へ	mε
高いところ	°k ^h a rə	上半身	k ^h u ^h te
上の方	°t ^h u	下半身	k ^h u ^h mε
ふもと	rə ^h ma	端	suu k ^h ɜ rə
以上	je ^h tɕ ^h i	底	xo rə
以下	mε tɕi		

時間

時間	ti ts ^h e	うま	°htɜ lo
今日	tə ri	ひつじ	lɛ lo
昨日	k ^h ɜ tsə	さる	°hɕi lo
おととい	°ndə k ^h ε nɛ	とり	ɕɜ lo
さきおととい	°ti k ^h ε nɛ	いぬ	ts ^h ə lo
明日	nə mɜ	ぶた	p ^h ɑ lo
あさって	°fi nə ni	日	ni kɜ
しあさって	°i ni	1日	ts ^h e ^h tɕi
今晚	tə ri ^h ts ^h ε rɜ	2日	ts ^h e ^h ni
明日の晩	nə mɜ ^h ts ^h ε rɜ	月	°tse ^h pɜ
昨日の晩	k ^h ε tsə ^h ts ^h ε rɜ	午前	°hɲa ro
昼間	nə mo kɛ	午後	°ku k ^h ɜ
朝	nə ^h se	1月	lo ^h sa ts ^h e ^h tɕi
正午	nə mo kɛ	2月	°fi ni wɜ
夕方	°ku ^h ka	上旬	°tse ^h go
夜	°ts ^h ε rɜ	誕生日	°hɕe le ni kɜ
夜中	°ts ^h ε rɜ	年	lo
真夜中	°ts ^h ε ^h tsi	年齢	lo
晦日	°fi nə ko wɜ	最近	tɜ le
えと	lo ri	今年	lo ni na
ね	ɕə lo	去年	nə ni
うし	°fi la lo	おとどし	nə ni ^h ɲa ro
とら	°hta lo	来年	lo ɕɜ me
う	jo lo	再来年	lo ɕ ^h ɜ mo
たつ	°dɛ lo	以前	tɜ ^h go
み	°ri lo	昔	°dzi ^h te ^h ɲo mɜ

今	^ɲ ts ^h e n3	冬	^{fi} ki ŋo
未来	ç ^h 3 mo ti	新年	lo ^h sa
春	^h se k ^h 3	祭り	ⁿⁱ k3
夏	^o fi ja ŋo		
秋	^o hte ^{fi} g3		

数字

一	^o htɕi	十八	tɕo ^{fi} tse
二	^o fi ⁿⁱ	十九	tɕu ^{fi} kɯ
三	^h su	二十	^ɲ ə t ^h ɔ ^{fi} b3
四	^{fi} ɣə	二十一	^ɲ ə x ^h u ^o htɕi
五	^o fiŋo	二十八	^ɲ ə x ^h u ^o htse
六	tɕ	百	^{fi} ts3 ^h tɕi
七	^{fi} ti	百一	^{fi} ts3 tɕi fi ^o htɕi
八	^{fi} tse	百八	^{fi} ts3 tɕi fi ^o tse
九	^{fi} kɯ	千	^o hto ^h tɕi
十	^o t ^h ɔ ^{fi} b3	万	^o t ^h ə ^h tɕi
十一	tɕe ^h tɕi	十万	mbo
十二	tɕu ⁿⁱ	半分	^o k3 zɛ
十三	tɕu ^h su	第1	^o hja s ^h o
十四	tɕu ɣə	第2	ti ʃi s ^h o
十五	^o tɕe ŋo	両/2	to / ^o fi ⁿⁱ
十六	^o tɕu ru		
十七	tɕu ^{fi} ti		

数量詞

1 人	^o htɕi	1 杯	ri ^{fi} bu ^o htɕi
1 碗	^o ka ji ^o htɕi	1 桶の水	^o tɕ ^h u ^o so ^o htɕi / kwa
1 腔	^o k ^h u	1 碗のごはん	^o ka ji kwa
1 ページ	x ^h o d3 ^o htɕi	1 つかみの土	ts ^h e ^h p3 ^o htɕi
1 本の草	^o hts3 ^o htɕi	1 時間	ti ts ^h e ^o htɕi
1 粒の米	^ɲ dɔ ^{fi} b3 ^o htɕi	1 輪の花	me tu ^o htɕi
1 つかみの野菜	^o hpa kwa	1 文	ɕu ri ^o htɕi
2 つかみの米	^o hpa to	1 そろいの靴	ha pɯ ^o htɕi

1 対のウサギ	ru: to / °fiŋi	1 [指の幅の単位]	s ^h o °htɕi
1 群れの羊	lu ri fi ^h bu °htɕi	1 対の牛	nu to °htɕi
1 区画の道路	la t ^h u h ^h p3 °htɕi	1 元	fi ^h go mo °htɕi
1 節	t ^h u h ^h p3 °htɕi	1 角	to °htɕi
1 日の旅程	ŋə m3 °htɕi	1 分	°hka m3 °htɕi
片方の靴	ha tɕu °htɕi	少しの間	°thə k ^h 3 je
1 回の食事	s3 fi ^h ti °htɕi	1 日	ŋi °htɕi
1 枚の布	ts ^h e h ^h p3 °htɕi	1 夜	nt ^h ɕɛ °htɕi
1 かご	°ts ^h 3 h ^h tu kwa	1 か月	°fi ^h la: °htɕi
1 セット	°hpa °htɕi	1 年	lo °htɕi
1 歳 (の動物)	tsə °htɕi	1 歳	lo °htɕi
1 個の荷物	k ^h ɛ °htɕi	一生	nə ze
1 袋	kwa	1 歩	ko m ^b 3 °htɕi
1 列の家	x ^h ɔ mo h ^h ta °htɕi	1 度	ve °htɕi
1 串の玉	t ^h e: °htɕi	1 声あげる	ve °htɕi °htɔ
1 滴の油	t ^h ə k ^h 3 °htɕi	1 回打つ	fi ^h tsa h ^h pu °htɕi
2 階	h ^h tsa °htɕi	1 噛みする	°s ^h o pu °htɕi
1 つの部屋	x ^h ɔ mo °htɕi	いくらか	°thə k ^h 3 je
1 包み	pɔ °htɕi	いくつか	°thə k ^h 3 je
1 瓶の酒	°kə ru kwa	毎日	ŋə re ŋə re
1 つの泥	m ^b a kwa	それぞれ	ki mɔ
1 斤	fi ^h tsa m3 °htɕi	1 倍	la p3 °htɕi
2 両	°ɕɔ °fi ^h ŋi / to	毎晩	ŋə re ŋə re nt ^h ɕɛ r3
1 斗	tɕe °htɕi / kwa	1 すくい	°hpa kwa
1 尋	n ^h do m ^b 3 kwa		
1 咫	°nt ^h o °htɕi		

代名詞

私	°ŋ3	彼 (彼女)	°te
私たち 2 人	°ŋe ŋi ŋ3	彼ら 2 人	°te ŋi ŋ3
私たち	°ŋi fie	彼ら	°ti fie
あなた	°tɕ ^h u	我々	°ʔi fie
あなた (敬称)	°tɕ ^h u	我々 2 人	°ʔo ŋ3
あなたたち 2 人	°ts ^h e ŋi ŋ3	皆	ki mɔ
あなたたち	°ts ^h e:	自分	ro re

他の人	°ne	誰ら	ku fie
これ	nə	何	kə
これら	ni fie	どこ	kə
ここ	nə	いつ	kwə ti
この辺	nə rə	どのように	kwə me
この2つ	ne ni ŋɜ	どれくらい	°ŋgu:
このような	°nɜ:	いくつ	°ŋgu:
あれ (近)	ne	そのほか	fi zo pɜ
あれ (遠)	pʰɜ rə	おのおの	rə rə
あれら	pʰɜ ri fie	一切	ki mə
あそこ	°pʰɜ rə	すべて	ki mə
あの辺	°pʰɜ rə	今回	tə ri
あのような	tɜ:	いつか	pa pa
誰	kə		

形容詞

大きい	ze hti	薄い	°sə jɜ
小さい	sʰɜ:	深い	°nʰo fi bo
太い	°fi ro fi bo	浅い	°sə jɜ
細い	°tʰɜ jɜ	満ちた	°kʰɜ fi gi tə
高い	°nʰo fi bo	空の	°h to fi ɜ
低い	°fi ma mɜ	多い	°fi za ŋa h tɜi
凸の	tsɜ fi bi da lu	少ない	si wo
凹の	°fi lu sə tɜ / və fio	四角い	ko fi dzɜ
でこぼこの	fi ba fi bɜ / kɜ tə kə tə	丸い	°fi lu fi lu / rə fi lu
長い	rə tsʰa	平たい	°li dzə
短い	tʰɜ tʰɜ	尖った	°h tso kɛ / °fi no bo
遠い	tʰa ri	はげた	sʰe la / sʰe tʰa
近い	tʰa ni	水平の	fi te mo / ku ku
中間の	°h tsi mo h tɜi / to to h tɜi	おもての	°h ŋa sʰo
幅広い	xi tɛa	うらの	°ɛʰə sʰo
狭い	xi tɛɜ	命中した	tə fi
広々した	ku tɛa	偏った	xe tʰə ri / sʰa sʰa
狭窄の	ku tɛɜ	歪んだ	xe tʰə ri / sʰa sʰa
厚い	°nʰɜ ko	横の	°h tsi tɛʰa la

縦の	tɔ wo la	疎な	°sɔ ju
まっすぐな	tɔ mɜ	硬い	°sɜ fi de
曲がった	°ci go	軟らかい	le mɜ
曲がりくねった	°ci go ɕa mo	粘つく	n dze tɔ le
黒い	na na	つるつるの	°s ^h e lɔ ŋe
真っ黒の	na ts ^h ɔ ŋe	ざらざらの	fi ke po
白い	h ^h ku h ^h ka	滑る	fi tɕɛ ji
赤い	°fi ma fi ma	きつい	ta tɔ le
真っ赤の	°fi ma fi ma	ゆるい	fi le fi lu
黄色い	s ^h e s ^h e	固い	°sɜ fi de
真っ黄色の	s ^h e lu ŋe	乱れた	la lɔ ŋe
緑の	fi tɕu fi e si	めちゃくちゃの	°fi mɛ lɔ ŋe
青い	°h ^h ŋo h ^h ŋo	正しい	°h ^h tu fi gi
真っ青の	°h ^h ŋo lu ŋe	誤った	°h ^h tu ma fi gi
灰色の	°h ^h ɕɜ h ^h ɕɜ	真の	fi de m ^h ba / °h ^h tu fi gi
明るい	°h ^h ka wu ŋe	にせの	°h ^h tu ma fi gi
まぶしい	°fi le fi ts ^h ɔ ŋe	生の	°fi le fi bɜ
暗い	na ts ^h ɔ ŋe / na na	新しい	°h ^h sɛ h ^h pɜ
重い	fi tɕi mo	古い	°fi ŋi fi e
軽い	ju fi e mo	よい	°fi zɔ fi o
速い	n dzu h ^h po	悪い	?a ɣɜ
ゆっくりの	kɜ li	弱い	?a ɣɜ
早い	°h ^h ŋa fi / xa ri	高い	°ku °n ^h t ^h o fi bo
遅い	°ɕ ^h ɔ li tɔ	安い	°ku °fi ma mɜ
鋭利な	°fi no fi bo	育ちすぎの	°fi ŋi fi e
鈍い	mɔ fi no ɣu / °fi no fi bo ma fi gi	年老いた	fi ke h ^h po / lo tɕ ^h ɔ
澄んだ	tɔ mɜ	若い	lo °h ^h sɔ lu
濁った	ŋɔ tɔ le	美しい	n dza mɜ / °fi zɔ fi o
太った	°fi ve lɜ	醜い	?a ɣɜ
肥えた	fi tsa pɜ	熱い	ts ^h ɜ de
やせた	°fi ve ŋɛ	寒い	h ^h si mɜ
乾いた	°h ^h ko fi bo	暖かい	tɔ mo tɔ wo
湿った	°fi le fi bɜ	温暖な	tɔ po
濃い	°ka rɜ	涼しい	°h ^h si lɔ ŋe
希薄な	°x ^h wu rɜ	難しい	°h ^h kɜ mo
密な	°n ^h t ^h wu ko	簡単な	h ^h lɜ mo

芳しい	xi ^h bo	愚かな	u3 uɯ / °fi ^h le ^h b3
くさい	?a ɣ3 / ɲɛ ^m b3	正直な	tɔ mo
酸っぱい	°h ^h ɕu mo	ずる賢い	tɔ ke
甘い	°fi ^h ɲɛ mo	和やかな	°k ^h 3 ^h fi ^h dʒu m3
にがい	°k ^h 3 ^h fi ^h de	傲慢な	°fi ^h wo ɲi ɕu
辛い	ɲe po	適当な	°tə ku
塩辛い	°k ^h 3 ^h fi ^h de	凶悪な	°fi ^h wo ^h tɕu ɲɛ ^m b3
淡泊な	°ts ^h 3 ^h ɕɛ3 ^h ɕɛ3	厳しい	ɲɛ ^m b3
渋い	rə k ^h i	遠慮深い	tɕ ^h a ɲi
暇な	°hto w3	けちな	°h ^h tsi ku
忙しい	ve t ^h u k ^h i	まじめな	fi ^h ɛ ^h zi
裕福な	ɕ ^h a x ^h u	怠惰な	fi ^h ge ze
貧しい	fi ^h wo tɕe	平凡な	°fi ^h bə rə bə rə
清潔な	°htsa m3	行儀のよい	°k ^h 3 ^h ɲɛ ɲə
汚い	?a ɣ3 °mu ^h ɕə	がんばった	°h ^h tsi l3 l3
生きている	°h ^h se ^h bo	かわいそうな	°h ^h ɲa ^h tɕi
新鮮な	s ^h e ^h p3	うれしい	°fi ^h k3 te
死んだ	x ^h ə tə lu	幸せな	°h ^h tɕə ^h po
明確な	tə ^h si	平和な	fi ^h te mo
おいしい	xi ^h bo	悲しい	ɲ ^h k ^h o tɕ ^h e
聞きよい	°h ^h ɲɛ mo	精通した	ɲ ^h k ^h i p3
見よい	°fi ^h zɔ / ja ^h p3	親切な	t ^h ə ^h ke
うるさい	°h ^h kɛ ^h fi ^h dʒi t ^h e	嫌な	mə ^h k3
つらい	°h ^h k3 m3	単独の	rɔ re ^h tɕu
退屈な	°fi ^h du ^h t ^h e	崖の多い	rə ɲɛ tɔ ɲɛ
急ぎの	ve t ^h u / ve t ^h u ^h ka t ^h u	近所の	°h ^h tɕa tə / su k ^h 3 rə
色とりどりの	ts ^h 3 ɣə / s ^h e ɣe	まあまあ	?a l3 p3 l3
賢い	tɔ ke		

動詞

愛する	fi ^h k3	壊して開ける	fi ^h kɛ / °h ^h tɕa
好きだ	fi ^h k3	整理する	°xwa
固定する	°h ^h tɕa	振る	fi ^h ju
淹れる	°h ^h ki	負ける	tɔ ma sə ji
抜く	pje	拜む	°ɕ ^h a ts ^h e

引越す	^o hpe	粉碎する	^{fi} dze
移動させる	k ^h u s ^h u / k ^h u tso	手で支える	ⁿ dzi te / ⁿ dzi ru
助ける	ro ka / ra ru	撒く	^o se / ^{fi} ze
結ぶ	^o ka / ^{fi} to	混ぜる	^o x ^h 3 se
包む	^o po tci	ねじる	^o ci tsw3
秘密を守る	^o so	大食いする	^o k ^h 3 s ^h e
保護する	^o su	味わう	^o ta
満腹になる	ⁿ do	弁償する	ce ^{fi} dze
抱く	^o po	歌う	le
掘る	^o ko	騒ぎたてる	uu ti ci
むく	^o xi	炒める	^o je
はぐ	^o xi	けんかする	^o va ri
剥げる	ku	沈む	lu / ^{fi} t3
暗唱する	^o lo ^{fi} ya	量る	ⁿ ti
背負う	^{fi} ke ku ^o k ^h u	ほめる	^o to ^h p3 ji
断食する	^o nu ne ^o su	支える	^o ce3 ^h tsu / ⁿ do je ^o t3
強制する	^o po tce fia	傘を開く	^o ts ^h e ^{fi} bu
閉ざす	^o tsu	完成する	ⁿ du
編む	^o lja / ^o le	盛る	^o lu ci / ^o tei ci
変える	^o lu so	持ちこたえる	no x ^h o
病気である	^o na	認める	k ^h e lo ^o fi ^h b3 ts ^h u
繕う	^o he ^{fi} b3 ^{fi} tsa	清める	to ^h tce
補修する	^o he ^{fi} b3 ^{fi} tsa	食べる	s3
布施する	^{fi} ke: ji	撒き散らす	^h xu
拭く	ce ^h i	ほとぼしる	^o xe
拭き消す	ce ^h i ^{fi} bu	すりつぶす	^{fi} tu
答えを当てる	^o x ^h i	持ち出す	tsa ^{fi} u ^o to
裁断する	ⁿ da	タバコを吸う	^o t ^h 3 p3 ⁿ ti
踏む	^{fi} to tca li ve / ^m p ^h u	鞭打つ	^o ti
参加する	ti na ^o s ^h u	出る	^o fi ^h ts3 s ^h u
隠す	^o ve	取り出す	^o fi ^h ts3 ^{fi} lo
搔く	^{fi} ta	日が昇る	na m3 ^{fi} ts3
はさみ込む	no ^h tsu	出てくる	^o fi ^h ts3 ^h pi
検査する	^o ta	掘り起こす	^{fi} be
縫い目を解く	^o xi	召し上がる	^o k ^h 3 gi
破壊する	^o xi	着る	ke

履く	ke	結び目を作る	^o ndu ^h p ₃ ^h tsa
穴に通す	^o k ^h ɔ ^h dzi	いびきをかく	^o hŋo ^h p ₃ ji
穴が開く	^o k ^h u ^m p ^h i	くしゃみする	?a ^h t ^h jo ^l u
穴を開ける	^o k ^h u ^m p ^h i	世話をする	^o hpo
伝承する	ɕi	導く	^o ts ^h i
伝染する	^u ge	(帽子を) かぶる	ke
吹く	^h pi	(布を) かぶる	^o ɕi
吹き飛ばす	p ^h i	(腕に) 身につける	^h tsi
打つ	^o ti	生まれる	^o hku ^u ^u ts ^h u
殴る	^o htsu / ^o ti	遅れる	^u go
完全に穴が開く	^o hte	さえぎる	^o hko
刺し傷が痛む	^o ts ^h ɔ	倒れる	^h ze ^h ɕi
急ぐ	^h zɕ	倒す	^h ze ^h ɕi
よじる	^h k ^h ɛ	つき砕く	^h tɕ
間違う	^o htu ^m ma ^h gi	裏返す	^o ɕ ^h ə ^h k ₃ ta
答える	k ^h i la	着く	^o hli
ぶつ	^h tɕ / ^o ti	得る	ra tɕ ^h i
身振りで表す	la ^h k ₃ ji	待つ	^h ku
狩をする	^o x ^h ɔ ^h tɕ	地が震える	s ^h ɔ ^h gi
撃つ	po: ^h tsa	頭を下げる	^u go ^h ku
当てる	^o p ^h u	うなずく	^u go ^h gi
けんかする	^o ti ri	点火する	^o s ^h u
散らかす	t ^h o	燃える	^m bɛ
分ける	^o k ^h ɔ ^h ka	灯す	^o hke
倒す	^o to	詰め物をする	^o ti ^h ɕ ^h i
引いてくる	le	しおれる	^o je
薪拾いをする	^h tu	ほおぼる	ⁿ dzu
脱穀する	^h tɕ	落ちる	^o t ^h a ^h lu
居眠りする	^o ni lo	吊るす	^h te
あくびする	?a ^h t ^h jo ^l u	釣る	^h zɕ
おくびを出す	ⁿ da tɔ	転ぶ	^o hi ^u ɔ ^h o
開ける	^o k ^h ɔ ^h ɕ ^h i	重ねる	^o htɔ
稲光がする	^o tu ^h tsa	噛みつく	^o s ^h o ^h tɔ
雷が鳴る	ⁿ da ^h tsa	叩き入れる	te yi
持ち歩く	^o k ^h u	なくす	po
戦争に行く	^h tsa ri	理解する	^o hɔ ko

凍る	ⁿ ts ^h a	分離する	°k ^h ɜ̃ ^h ke
動く	ⁿ gi	分かれさせる	°k ^h ɜ̃ ^h to
ちょっと動く	ⁿ gi	狂う	°h ^h no ^h bɜ̃
読む	ⁿ de	縫う	ⁿ də ^h ki
ふさぐ	^h tsa	塗る	°ɕu
渡る	^h ke	孵る	°nu
切れる	°tɕ ^h e	手を置く	°tɕu
折れる	°tɕ ^h a	適合する	°h ^h tɕi ^h gi / ⁿ t ^h o ^h gi
ちぎる	°h ^h tɕe	適合させる	°h ^h tu ^h gi
折る	°h ^h tɕa	腐る	ri
隠れる	^h ua	かぶせる	^h ko
切り分ける	°h ^h tsu	かぶる	^h ko
印を押す	°s ^h e ^h tsa / ^h te	乾く	°h ^h ko ^h bo
飢える	°h ^h to	喉が渴く	°h ^h ko
押しつける	° ^h ne	働く	le ^h gi
怒る	se ^h kɜ̃ ^h se	風邪を引く	° ^h no ^h fiɕu
誓う	° ^h nɜ̃ ^h tɕa	あえてする	ja ^h ve
身震いする	^h de	言う	° ^h le
発酵する	°h ^h nɜ̃	告訴する	° ^h le
熱がある	°ts ^h ɜ̃ ^h lo	切り分ける	°h ^h tɕe / °h ^h xe
心配する	^h tu	切断する	°h ^h tɕe
発芽する	^h bi	切ってしまう	°h ^h tɕe
罰する	°tɕ ^h e ^h pɜ̃ ^h tɕe	刈る	^h ga ^h ki
翻す	° ^h ze ^h lu ^h ko	隔てる	°h ^h tɕe
振り返る	° ^h ze ^h lu ^h ko	靴擦れを起こす	° ^h ne
反対する	ŋo ^h lo	与える	ɕa
翻訳する	lo ^h tsɜ̃	ついて行く	ɕe ^h ɕe ^h dzo
反芻する	°h ^h xu	耕す	^h mo
つむぐ	^h k ^h e	つるす	^h tsi ^h ku
放置する	° ^h ya	いっぱいである	^h do
入れる	°h ^h to	計る	°ha ^h lo ^h tɕe
放牧する	nu ^h ts ^h o	雇う	° ^h lɜ̃
火をつける	ne ^h su / ° ^h ya	剃る	^h ye
飛ぶ	^m p ^h u	風が吹く	^h tsɜ̃
分かち合う	^h ke	掛ける	^h kja
分家する	s ^h ə ^h zɜ̃ ^h ke	電気を消す	se

関心を持つ	s ^h e k ^h i	生きている	s ^h e
閉める	mə ^h te / mə ^h tɕə	支える	° ^h se
囲い込む	ra ^h tɕu	手に入れる	la tɕei
管理する	° ^h ku fia ^h gi	水で混ぜる	°x3 sɛ
灌漑する	°tɕ ^h u ^h lɔ	集まる	° ^h tɕ ^h i
跪く	ko kɔ ^h tɕe	積もる	° ^h su
転がる	° ^h ga lu ^h t3	集まる	°x3 ^h di
年越しする	lo ^h sa	集める	° ^h di
渡る	° ^h kɛ	搾り出す	° ^h tɕu
経る	° ^h go	搾る	° ^h ti
恥ずかしがる	° ^h o ts ^h 3	はさむ	° ^h tɕu
怖がる	° ^h ɕa	預ける	°tɕei fia
呼ぶ	° ^h ye ^h de	送る	° ^h ŋa
叫ぶ	m ^h be ^h ye	うらやむ	s ^h e ŋɛ
飲む	° ^h tu	締めつける	° ^h tɕe
適切である	° ^h tɕə ^h k3 ^h gi	はさむ	la
閉じる	° ^h k ^h 3 ^h tɕə	選び出す	la / ° ^h lo
うらむ	ts ^h ə ^h k ^h 3 so	減らす	° ^h u fie ji
火であぶる	° ^h ko ^h dzə / °s3	はさみで切る	tɕ
なだめる	° ^h go / jo jo ɕi	語る	° ^h xɛ
悔いる	° ^h dzə ^h p3 tɕe	落ちる	pɔ
描く	° ^h də	交換する	° ^h tɕe ri
身ごもる	° ^h na ^h nu ^h ɕi w3	交付する	° ^h tɕa
疑う	s ^h e ŋɛ ^h dzə	交わる	tɕ ^h e ru ° ^h ja
払い戻す	° ^h ɕi ^h b3 ^h ɕu	水を引く	°tɕ ^h u ^h tsi
返却する	° ^h ɕə ^h ɕə ^h ɕi	こげる	° ^h ts ^h i sə
交換する	° ^h tɕe	噛む	° ^h tɕe
振る	° ^h ji	教える	° ^h la ɕi
帰る	° ^h ɕə ^h pu	鳥が鳴く	° ^h ɕi ru ^h tsə
思い出す	tɕ	猫が鳴く	° ^h ?a lu ^h le
答える	la ^h te	ロバが鳴く	° ^h po lu ^h ŋɛ
破壊する	° ^h se / je / je s ^h e	馬が鳴く	° ^h t3 ŋɛ
破壊させる	je ^h tɕu	牛が鳴く	° ^h nu ŋɛ
できる	° ^h x ^h e	犬がほえる	° ^h ts ^h ə su
混ぜる	°x3 sɛ	ぶたが鳴く	° ^h p ^h a ^h ye
攪拌する	° ^h nu	山羊が鳴く	r3 ^h be

綿羊が鳴く	lu ^h be	見せる	°htε
虎がほえる	v3 luw ^h tsə	見える	nt ^h u
狼がほえる	°hɕo ^h gw ^h tsə	医者に見せる	°hta
呼ばれる	mbe	かつぐ	ja ^h tswa
剥く	ɕ ^h e	暖める	°ɕa
実がなる	°hta	頼る	°hŋe
結氷する	°h ^h ts ^h u	ぬかずく	°hɕ ^h u ts ^h ε
結婚する	°fi ^h z3 ji	咳をする	luw
ほどく	°htsi	渴く	°hku
お金を借りる	fi ^h go mo ^h fi ^h je	刻む	°hki
ものを借りる	°fi ^h je	賛成する	ɕa ^h nt ^h u
浸す	fi ^h uu	かじる	t ^h o ^h gi
禁じる	je mə tɕ ^h u	ほじくる	tɕ
浸す	fi ^h uu	ボタンをかける	fi ^h zɕ
入る	no ^h ndzi	暇である	°hto / °hto w3 ^h no
びっくりさせる	n ^h do ^h tɕu	泣く	ŋu
びっくりする	n ^h do	眠たい	°hk ^h u / °fi ^h ŋi lu
救う	ra ro ju	引く	nt ^h i
住む	fi ^h te	排泄する	°htsuw: nt ^h ɕ
挙げる	ja ^h tswa	辛い	fi ^h ŋe po
のこぎりで切る	fi ^h qa	漏れる	li
完全にする	°k ^h 3 ts ^h u	来る	ju
巻く	°fi ^h ri	引っ張りあげる	°htso ^h h ^h ɕu / °htso ^h fi ^h lo
縮む	°hku	年をとる	fi ^h kε
掘る	°hko	手綱で制御する	°htɕu
邪魔する	°tɕu	疲れる	°hk3
邪魔させる	tɕi tɕu	つなぐ	xe nt ^h i
開ける	°ɕ ^h i	量る	°ts ^h ε
沸く	fi ^h lo ^h tsu	乾かす	°hku wa
開く	kε	おしゃべりする	fi ^h ɣa ei / ɕu le
運転する	°hko / fi ^h te	裂く	°k ^h 3 fi ^h ge
始める	°ŋgo x ^h e	ずぶぬれにする	po
開墾する	°s ^h 3 ^h lu je / °s ^h 3 x ^h 3	流れる	n ^h dzo
切り倒す	°htse	とっておく	°fi ^h ɣa
切る	°htɕa	耳が聞こえない	°fi ^h n3 ve
見る	°hta	抱きしめる	°po

漏らす	sa	派遣する	°fiŋa
混乱する	°xhi	弧を描く	ŋk ^h o
濾す	°ts ^h a	走る	°fi ^h tsə
乱す	°fi ^h me l3 xə l3	茶を入れる	°fi ^h wɔ
順番になる	ri	賠償する	°h ^h ci fi ^h b3 h ^h tə
積み重ねる	°htsi	埋め合わせる	m3 xə
日が沈む	ŋə m3 ⁿ dze	身につける	°hta
しびれる	°firi	膨張する	°h ^h çu
叱る	°htsə ki	衝突する	fi ^h tu
埋める	°sh3 k ^h u °fi ^h ve	木を切る	°h ^h se
買う	ŋo	浮く	ŋk ^h e
売る	ⁿ ts ^h u	ほとぼしる	h ^h tçu
満ちる	°k ^h 3 fi ^h gi / °k ^h 3 ko	裂ける	°h ^h xə
ない	mə ^h no	破れる	°h ^h xə
隠蔽する	°hko	壊れる	tjɛ / °tç ^h a
燃え尽きる	°she	傷つく	°fi ^h lo fi ^h kɛ
さえずる	fi ^h tsa	壊れる	°tç ^h a
唇を軽く閉じる	°htsu	壊す	°htça
理解する	h3 ko	解剖する	°h ^h xɛ
触れる	ra	敷く	fi ^h te
研ぐ	fi ^h ta	手荒く扱う	°ŋɛ ŋo tçɛ
粉をひく	ⁿ t ^h a	だます	°ŋgo °fi ^h ju
つかむ	la	レンガで造る	°htsi
持っておく	la tç ^h a	乗る	°fi ^h ju
掻く	fi ^h t ^h u	起きる	ja lo
できる	fi ^h ve	牽引する	°tç ^h i
枯れる	fi ^h li	負う	fi ^h tçi
凝固する	°hka	略奪する	°fi ^h t ^h u
絞る	°htçu	叩く	fi ^h tu
嘔吐する	°h ^h çu	振り上げる	ja fi ^h dzu
這う	ⁿ dza	詮索する	fi ^h dza lu
這って歩く	tç ^h i	切り刻む	°htso / °htu
山に登る	ⁿ dza	口づけする	°p3 fia °xi
木に登る	ⁿ dza	軽んじる	ⁿ t ^h o fi ^h tç ^h u
叩いて音を出す	fi ^h te	要求する	°k ^h 3 tu
整列する	°htça fi ^h dji	追い出す	fi ^h tɛ

取る	°fi lo	伸びきる	ɳtʰi
娶る	°fi lo	にじむ	sa
行く	°hpi / ɳdzo	成長する	°hɕe
回復する	n3 se / n3 tɔ	さびる	°h ts3 tɕʰa
治癒する	se / tɔ	腫れ物が大きくなる	°fi m3 hɕɕ / °fi mo hɕɕ
欠ける	°htɕi mə tɔ	産む	°hɕe
完全である	°kʰ3 tsʰɔ	腹を立てる	°htɔ lo
染める	°tsʰi	残される	fi li
叫ぶ	vuu ti hɕə	昇る	xʰa
道を譲る	pʰa hte	させる	je hɕɕ
温める	°sɔ	釈放する	°fi na
知り合う	ŋo xʰe	である	fi gi
投げる	°to / °htɕi	収穫する	fi dɔ
溶ける	xuu	受け取る	la tɕi
溶かす	xuu hɕɕ	閉じる	°kʰ3 hɕɕ
もむ	°fi mɛ	防御する	°tsʰa htu
耐える	°hɕa htsu ka	守る	°sɕ
なめす	°fi ŋi / °fi ne	髪をとく	°xʰɛ
撒く	fi tsu	負ける	ma ve
小便する	ɳtʰɔ	顔見知りである	ŋo xʰe
播種する	sʰa ŋe ɳde	調理される	ɳtsʰe
解散する	ɳtʰo	熟れる	°hŋi
ゆるめる	ɳtʰo	やせる	°ve ŋe
掃く	ɕʰa	数える	tɔ kə
殺す	°hse	ゆすぐ	hxe
ふるいにかける	°tsʰa	衰える	ɳɛ hɕɕ pi
日にさらす	ɳə mɛ tɕa / °hku wa	転落する	°tʰa tɕʰe / se htsɔ
日向ぼっこする	ɳə m3 fi de	投げる	°fi ju / °htso
稲光が走る	°fi lu	かんぬきをする	°htɛ
傷つける	°fi mɛ	結びつける	°hta
相談する	tse k3	眠る	ɳɛ
上がる	je hpi	寝つく	°fi ŋi fi lo
射る	°htso	吸う	nuu
射止める	°mpʰu	話す	hxe
伸ばす	°htso / °sɔ	裂く	°hɕi / °hxɔ
伸びる	°sɔ	死ぬ	°xʰə

計算する	°h _{tsə}	退く	°ç ^h ə ^h t _{tsi}
粉碎する	°t ^h ɔ	飲みこむ	°fi _{ni}
傷つける	°h _{tçə}	引きずる	°t ^h i
錠をすする	s ₃ h _{tswa}	脱臼する	°m _p h _a
崩壊する	fi _{di}	背負う	fi _{kɛ} °ŋ _{ge}
踏みつける	°s ^h e ^h fi _{tsə}	掘る	°h _{ko}
持ち上げる	ja ^h t _{swa}	切り出す	fi _{tçi}
涙を流す	°fi _{ni} tç ^h u ^h ju	曲がる	°k _u
横になる	°nɛ	曲げる	°ç ^h i ^h fi _{gu}
やけどする	°s _a	終わる	°t ^h s _ɛ
逃げる	°n _{dɛ}	遊ぶ	°h _{tse} mo ^h °h _{tse}
物乞いする	h _{lɔ}	忘れる	fi _{tçɛ}
着る	ke / ?a ^h t _{sa}	餌をやる	nu ^h fi _{dzi}
頭痛がする	k ^h i	におう	h _{nu}
蹴る	fi _z u ^h t _{sa} h _{tsa}	尋ねる	°h _{tsa} h _{tsi}
剃る	t _a / fi _{yɛ}	握る	°n _{dzi}
曇りである	°fi _{no} °ŋ _{go} °na	ふさぐ	°h _{tsu}
晴れる	°fi _{no} °ŋ _{go} t _ɔ	吸い込む	fi _{də}
夜が明ける	°fi _{no} °ŋ _{go} ç ^h ɛ	慣れる	ŋɛ ^h fi _{la}
暗くなる	mi ^h r _u	洗う	°h _{tsu}
なめる	fi _{ta}	好む	fi _{k₃}
担ぐ	t ^h a ^h t _o °ŋ _k u ^h / t ^h a ^h la ^h fi _u	目が見えない	lu
選ぶ	s ^h e	下りる	°t ^h ɔ ^h p _u
踊る	°tç ^h ɔ ^h °fi _{tç^hɔ^h}	産む	fi _{ya}
跳ねる	°t ^h i	卵を産む	fi _{ko} ŋ ₃ fi _{ya}
脈打つ	fi _{ti} / fi _{gi}	雨が降る	°fi _{no} °m _{bo}
貼る	°n _{dzɛ}	怖がらせる	t ₃ fi _{ti} ç _i
聞く	°nɛ	陥没する	fi _{ti} / l _u
聞こえる	ko	捧げる	fi _{bu}
止める	°s _e	慕う	°h _{ni} m ₃
知らせる	°h _{kɛ} h _{tswa}	信じる	je tç ^h i / ç ^h i t ^h u ^h fi _{dzo}
盗む	°h _{ku}	思う	°h _{so} lo ^h t ^h i
投げる	°h _{tsa}	思い出す	t _ɛ
吐く	°m _p h ^e h _{to}	したいと思う	°h _{so}
押す	°m _p h _i	似る	r _ə
口実を設けて断る	°h _{çi} ti	消化する	fi _{yɛ} / ç _u

消える	jɛ	存在する	°hno
下る	°hxu	出会う	°k ^h ɜ t ^h u
削る	fiɣu	賛成する	°k ^h ɜ ja
気をつける	s ^h i h ^h tɕu / kɜ li	越える	fi ^h kɛ
笑う	fi ^h ke	めまいがする	°ŋo ju ^h n ^h ts ^h i
書く	n ^h dɔ	許可する	°tɕ ^h u
下痢する	°hxɛ	栽培する	fi ^h dzu
鼻をかむ	ɕ ^h i	いる	°fi ^h dɛ
目覚める	°fi ^h ni s ^h ɛ	増える	la pu / k ^h ɜ ^h no
恥ずかしがる	ŋo ts ^h ɜ	彫刻する	°k ^h o
休む	mɛ ɕi	刺す	°htso
刺繍する	n ^h dɔ	刺しこむ	°htsu
学ぶ	h ^h lo	瞬きする	°hpɜ
燻製にする	to: fi ^h tu	抽出する	fi ^h tu / °htsa
探す	n ^h ts ^h e	摘む	°htsu / °htɕe
押さえる	°hnɛ	糊づけする	°ndzɛ
去勢する	°hme	立つ	ja lo
粉にする	h ^h tu	引っ張って開く	fi ^h to
より分ける	°hɕɛ	大きくなる	la tɕ ^h a
かゆい	sɜ	かさが増す	°htɕo
育てる	°hso	腹が張る	°hko
揺れる	fi ^h ge	火をつける	x ^h o
揺する	°ŋo fi ^h kɜ fi ^h ki ɕi	風邪を引く	°s ^h i tɕu
噛む	°sho fi ^h to	召集する	fi ^h ti
掬う	°htɕu	探し出す	°fi ^h ni
必要である	fi ^h ko	刺す	°ndu fi ^h tsɔ
引き入れる	°ts ^h i	覆う	°hko
頼る	tu ^h tɛ	震える	°ŋgi
あふれる	°me	奪い合う	fi ^h t ^h u ri
秘密にする	°hsɔ	蒸す	°htse
勝つ	t ^h a pe	知っている	°x ^h e
迎える	°ŋɜ ^h so	織る	le ji / n ^h ta
抱擁する	°po / °uɛ fi ^h gu to	指す	n ^h dzur: fi ^h dzu
泳ぐ	tɕ ^h u ^h nɛ °htɜ	種をまく	°htsu / °hto
持っている	°hno	腫れる	°hɕu
いる	°hno	煮る	°htse

杖をつく	°h _{tsu}	行く	ⁿ dzo
願う	°h _{mo} la ^{fi} tsa	呪う	^{fi} zo
ひっつかむ	^{fi} zɯ	中に入る	^{fi} dze
振り返る	°k ^{h3} h _{ko}	穴を開ける	°h _{xu} h _{ku} / p ^{hə}
角を曲がる	°ɕ ^{hi} ^{fi} go lo	酔う	^{fi} zə
移動する	°ŋ ^h ko	座る	°t ^h ɔ ^{fi} te
移動させる	ŋ ^h ko ^h tɕɯ	する	^{fi} gi
詰める	nɔ ^{fi} ti	夢を見る	° ^{fi} ŋi la ° ^{fi} ŋi
追いかける	°ɕ ^{hə} ^{fi} te	商売する	ⁿ ts ^h u je
準備する	°ts ^h a / tɜ ^{fi} qi	連れる	ru ^h pɜ je
捉える	^{fi} zɯ	仕方	ŋ ^h gi ts ^h ɯ
ついばむ	ⁿ t ^h ɯ		

その他の品詞類

のみならず	°te mə ts ^h ɛ	一緒に	° ^{fi} du / °k ^{h3} h _{tɕi}
～を除いて	te ɕ ^{hi} ma	必ず	ji nə mə nə
ほとんど	hɜ lo ^h tɕi	～もまた	ɕɜ mə
もちろん	°wɔ ^{fi} le	それから	°tə le
たった今	ma ^h tə le	再び	ɕɜ mə
本来的に	^h ko ^h tsɛ nɛ	少なくとも	° ^h ko mi ji lɜ
そして	rɜ	～まで	° ^h tɜ x ^h e
とても	°x ^{hə} / hɜ ^h tɯ kə	最後に	ɕɜ mə
まだ	°ʔɯ	突然	° ^{fi} lo ^h tsɜ / °hɛ tsə mo
今すぐ	°hɛ tsə mo		
～か	^{fi} gi rɔ		

**Sound correspondences of the 'Azha dialect of Thewo-smad Tibetan
with Literary Tibetan and a Japanese-'Azha word list:
With an introduction to Tibetic languages in Thewo County**

Hiroyuki SUZUKI

Abstract

This article provides an exhaustive list of systematic sound correspondences between Literary Tibetan (LT) and the 'Azha dialect of Thewo-smad Tibetan. The 'Azha dialect belongs to the Thewo-lho dialect group, spoken in Axia ('Azha) Township, Diebu (Thewo) County, Kanlho Tibetan Autonomous Prefecture, Gansu Province, China. A Japanese-'Azha wordlist (ca. 1800 words) is attached as an appendix at the end of the article.

The principal description of the sound correspondences is divided into three parts: initial [consonants] (Section 3.1), rhyme [vowel + final consonants] (Section 3.2), and multi-syllabic phenomena (Section 3.3). The article does not discuss suprasegmentals from the viewpoint of the sound correspondence with LT.

Striking findings regarding the sound correspondences are the following:

- Multiple sound correspondences are attested for the LT combinations of Pr, Kr, Py, and Ky;
- The existence of LT finals does not lead to long vowels in 'Azha; and
- The 'Azha long vowels correspond to LT disyllabic words.

受理日 2022 年 4 月 8 日